



JESUS
SHAPED LIFE
ANGLICAN DISCIPLESHIP

A Life Guide

イエスをかたどった人生を生きるために

意識的に弟子を生き、弟子をつくろう
聖公会のディサイプルシップ
グループまたは個人のための 12 のスタディ



発行:全聖公会中央協議会 (ACC)

2019年、ロンドン

ISBN 978-1-911007-21-8

© *The Anglican Consultative Council*

編集:司祭・カノン マーク・オックスブロウ

このスタディガイドの多言語バージョンや、更なる「ディサイプルシップ」についての資料は、アングリカン・コミュニオン・オフィスまでお問い合わせください mission@anglicancommunion.org



The Anglican Communion Office
St Andrew's House
16 Tavistock Crescent
Westbourne Park
London, W11 1AP
United Kingdom

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 寄稿者 | 4 |
| はじめに | 5 |
| スタディ 1: ユダヤ教のディサイプルシップ(旧約聖書の背景) | 7 |
| スタディ 2: イエスと弟子たち | 12 |
| スタディ 3: 初代教会のディサイプルシップ(新約聖書) | 16 |
| スタディ 4: ディサイプルシップか、クリスチャンの文化か | 22 |
| スタディ 5: グローバル社会におけるディサイプルシップ | 27 |
| スタディ 6: 家族のためのディサイプルシップ | 32 |
| スタディ 7: 職場におけるディサイプルシップ | 37 |
| スタディ 8: 社会を変革するディサイプルシップ | 42 |
| スタディ 9: 聖公会のディサイプルシップ | 47 |
| スタディ 10: 他教派におけるディサイプルシップ | 52 |
| スタディ 11: 他の信仰共同体の中に生きるディサイプルシップ | 57 |
| スタディ 12: 弟子を増やすために | 63 |
| 未来に向かって | 69 |
| 参考資料と祈り | 70 |

はじめに

鏡の中の自分を見たときに、その姿が有名なアスリートや映画俳優だったならと願ったこと、ありませんか？ もし、鏡に映るあなたの人生がまるごとイエスをかたどったものであったとしたらどうでしょう？ 日々わたしたちが行うこと、考えること、欲することがわたしたちの人生をかたちづくっています。体に良くない食べ物や、定期的なエクササイズが自分の体をつくるように。わたしたちはどのようなかたちになろうとしているのでしょうか？ このスタディシリーズは、自分の人生をイエスのかたちに近づけたいと思っているあなたのためのものです。

わたしたちは、この冊子を学びのガイドではなく、「ライフ・ガイド」と名付けました。ディサィプルシップ（弟子性）とは、学ぶものではなく、あなたがどう生きるかということだからです。わたしたちがここに提供するの、あなたが修了すべき講座ではなく、一つの生き方なのです。

古代の神学者たちは、教会を「使徒的」と説明しました。神のお創りになったこの世に対し、イエスの生き方を伝えたのは使徒たちだったからです。この冊子では、弟子という言葉を使っていますが、それは、使徒、神の国の民、神の家族の一員という言葉に言い換えることもできます。どんな言葉を使おうとも、ここでのチャレンジは、イエスのかたちに少しでも近づく人生を常に生きることです。

神の家族の中に生きる使徒的、弟子的生き方は伝染します。弟子が新たな弟子をつくるのです。このことは、意識的な福音宣教において起こることもあります。ほとんどは、意識的に弟子を生きることによって起こります。イエスをかたどった人生を生き始めた人々は、とても魅力的で、自然とまわりの人たちをイエスと神の国へと引き寄せるのです。

このライフ・ガイドは、世界中の聖公会の信徒によって用いられています。ぜひこれを多国語へ翻訳し、それぞれの土地でのニーズに合わせ、あなた自身のイエスをかたどった人生の体験を伝えてください。多くの人たちがあなたの物語によって励まされることでしょう。

「意識的に弟子を生き、弟子をつくろう」

The Anglican Season of Intentional Discipleship and Disciple-Making

2016年4月、世界の聖公会のリーダーがザンビアで開催された全聖公会中央協議会に集いました。そこで最初に可決された決議案が、9年間の「意識的に弟子を生き、弟子をつくろう」というキャンペーン実施への呼びかけでした。この呼びかけに答えて、既にジャマイカからマレーシア、マラウイからカナダまでの信徒たちがイエスをかたどった人生を生きようとしています。教区の会議、青年会、女性の集まり、新たなリソースの開発、祈りフェスティバルなど、あらゆる方面でイエスのように生きることに焦点が当てられています。このキャンペーンをサポートするのは、東南アジア管区総裁主教率いる国際コーディネートグループとこのスタディガイドの制作を担った小さなスタッフチームです。さらに詳しい情報は、下記をご覧ください。www.jesus-shaped.life

本書の使い方

多くの場合において、このガイドは毎週定期的に行われる小グループの集まりで用いられ、各章の学びがその都度行われることでしょう。しかし、その内容を個人で何週間かをかけて学べるようにしたり、教会の修養会や青年のキャンプなどの目的に適用することも可能です。

それぞれのセッションに少なくとも90分を使うことをお勧めします。すべてのセッションは、祈り、朗読、黙想、わかちあいといった同じパターンがとられています。

集まる人たちにとって場所はどこが良いか、時間はいつが良いかをじっくりと考えましょう。おやつなどの軽食を用意することが、話し合いをスムーズにするか、それとも気を散らすことにしかならないかもよく考えてください。参加者にはセッションの終わる時間を伝え、毎回その時間を守るようにしましょう。

このガイドの各章は、グループセッション（または個人的な学び）への大まかな内容を記していますが、あなたが暮らす土地の文脈と文化に合うものに自由に変えてください。個人的な証しをもっと必要とするグループもあれば、礼拝的要素がより多くあった方がよいグループもあるでしょう。参加者を助ける良いビデオがあれば、一つのセッションで見せても良いですし、ある本からの短い文章やあなたの国の文化の伝統的な物語を読むのも良いかもしれません。

これは、数週間で学びを終了するコースではなく、あなたの人生の焦点を変えていくコースです。これから何年もかけてあなたが見出していく変化をサポートするために、ガイドの最後の章には、「未来に向けて」の提案が用意されています。グループの参加者一人ひとりがこの章のコピーを持ち帰ることをお勧めします。このガイドの最後のページには、参考となる祈りや資料が載せられていますので合わせてご利用ください。

スタディ 1 : ユダヤ教のディサイプルシップ

イエスは、誕生したときから十字架の死に至るまでユダヤ人として生きました。イエスをかたどった人生を今日のわたしたちが生きるためには、ユダヤ人のイエスにとって神の国を生きることが何を意味したかを理解する必要があります。



はじめの祈り

すべてのものの主を賛美することは、わたしたちの務めです
創造主の偉大さを語ります

わたしたちは、賛美と感謝をもって身をかがめます
最も尊き、王の王なる方に

あなたは聖なる方、祝福の源
そのみ手は天まで届き、地を造られました

栄光の御座は天にあり
そのみ力は何よりも高いところにあります

わたしたちの神、ほかに神はありません
まことに、主はわたしたちの王、ほかに神はないのです

(ユダヤ教の祈り:アレイヌ・イエシャベイアク)



わたしたちのストーリー

ある美しく晴れた日、女の子が父親と一緒に歩いていると、横切らなければならない浅い川に出くわしました。「先に行くからついておいで」と父親は言います。父親が川を渡り始めたとき、女の子は彼が足を濡らすことなく、上手に石の上を歩いていくことに気づきました。女の子はとても注意深く足を進めていきますが、何度も滑り、とうとう水の中に落ちてしまいました。父親は振り向いて叫びます。「お父さんのようにやっごらん。」女の子は立ち上がり、父親をじっと見つめました。すると、彼は膝を曲げ、腕を伸ばしながらバランスを取っていることに気づきます。その頭は高く、背中はずっと伸びていました。彼は一つ一つの石を見ていないのです。女の子は一歩進むごとに自信がつき、川を渡って行きました。彼女の足が石の上で濡れないだけでなく、彼女はいつのまにか父親を倣うようになっていたのです。父親の持つ自信を身につけ、彼とともに楽しい歌を歌うまでになりました。



はじめましょう

ユダヤ教徒にとって、ディサイプルスシップは家族間の事柄です。ほとんどのユダヤ教の礼拝、教え、霊的養いは、家庭で行われるからです。両親は、子どもたちに対し、トーラー（神の律法）を忠実に守る模範となるのです。

参加者全員に3枚ずつカードを配ります。それぞれに、あなたがイエス・キリストの弟子となるために支えてくれた人を書いてください。（個人名ではなく、「先生」「友達」「祖母」というように書きます。）書き終わったら、すべてのカードを集め、「家族」「教会の指導者」「その他」の3つのカテゴリーに分けて、壁に貼るか、またはテーブルに置きます。みなさんの体験は、ユダヤ人共同体のものと比べて、どのような違いがあるでしょうか。



聖書を読む

申命記6章1～9節、20～25節

次のステップに従って、この聖書箇所を読んでみましょう。

- 一人が朗読する。
- 心に響いた一つの言葉や表現について、沈黙のうちにそれぞれで黙想する。
- それぞれが気づいた言葉や表現をグループで共有する。ここではまだ話し合わないように。
- 別の人が再度同じ箇所を朗読する。（違う訳の聖書を用いても良いでしょう）



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い（あるいはリーダーが提案したもの）について話し合います。8名くらいのグループが理想的です。

1. ユダヤ教のディサイプルスシップは、神の掟に従うことに焦点が置かれているようです。クリスチャンにとって、そのことはどれくらい重要なことでしょうか？
2. クリスチャンが弟子として生きる上で、家庭生活はどのように重要なものとなるでしょうか？ひとり暮らしの人たち、また家庭生活に困難や苦しみを抱えている人たちは、そのことをどう受け止めるとよいでしょうか？

3. 列王記下2章9～14節を読んでみましょう。旧約聖書において、弟子として生きるためには、だれかのメンター（初心者を訓練すること）になることが大切とされているようです。クリスチャンの弟子として、あなたが訓練している人はいますか？ あなたがその「傍らを歩く」だれかがいますか？



黙想の種

5分間の静かな黙想の時をもち、今回学んだ旧約聖書の弟子の生き方に、それぞれがどのように応えることができるかを考えましょう。黙想を助けるために、キャンドルを灯したり、ふさわしい写真を用いたり、音楽を流したりしてみてください。最後に、みんなで次の弟子の祈りを唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によってかづけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができますように。
アーメン。



さらに深めるために

報告書「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」(*Intentional Discipleship and Disciple-Making*)の中で、クリス・ライト氏は次のように述べています。

トローラー（聖書の最初の五書）を読んで聞かせることの重要性は早くから知られていました。民全体は、自分たちがどのような局面にあらうとも、神の言葉を聞き、応えることによって弟子となることが求められていました（申命記31章9-13節）。詩編は、このいのちを与え、いのちを豊かにし、いのちを形づくる神の言葉の力をほめたたえます。（「律法」という語はトローラーの豊かさを表すには十分ではありません；詩編1、19、110編）。詩編119

編の作者は、神の言葉そのものが人を正しい道に導き、誤った道へ行かせないためのものとして賛美しています。

ネヘミヤ記8章は、共同体を弟子へと導く見事な出来事を記しています。律法全体が一週間のうちに朗読され、熟練したレビ人たちがそれらを訳し、解説し、読まれた言葉の意味を明らかにします。家族の長たちがそれらを受け取り、それぞれの家族へと伝えていきます——おそらくこれが最初の神学教育と言えるでしょう。8章は、人々がそれら聖書の言葉を理解したときも、そしてそれらの言葉に従ったときも、歡喜にあふれたことを喜びをもって報告しています——弟子を生きるということは、これに近いことなのです(ネヘミヤ8章12、17節)。

(「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」全聖公会中央協議会、ロンドン、2016年、10-11ページより、イタリック付加)



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合しましょう。

1. 今日のあなたの共同体では、クリスチャンが弟子として生きようとするとき、聖書はどのような位置に置かれますか？ 人々は、聖書が伝えていることを理解しているでしょうか？ 理解をより深めるためにお互いにできることは何でしょうか？
2. ライト氏は、人々が聖書を理解したときだけでなく、それらに従ったときに喜びを見出したことを伝えています。あなたは、普段、従うということに喜びを関連付けますか？ 神の言葉に従うことが喜びをもたらすということ、どうすればあなたの共同体の人々に伝えることができるでしょうか。



生活のなかで

帰る準備をする前に、数分間を使って、次の一週間、弟子としての生き方を家庭に持ち込むことのできる一つの行動を紙に書いてみましょう。家のどこかに毎日一つの新しい聖句を貼る、リサイクルできないプラスチックの使用を減らす、あるいは、家庭の中でもっと子どもたちがそれぞれの意見を出せる場を作る、といったことなどでもいいかもしれません。もし、イエスがあなたの家庭で生活したら、どうなさるでしょうか？



おわりの祈り

次の祈りをグループのだれか一人が唱えるか、あるいは全員で声を合わせて唱えましょう。

アブラハム、モーセ、エリヤ、エリシャの神さま、
あなたは恵みとあわれみの源です。

わたしたちの目からうろこを取り去り、わたしたちの心から無関心をぬぐい去ってください。

そうして、わたしたちが、この地を新たにする正義とあわれみの新しい支配をもたらす、あなたのご計画を目にすることができますように。

わたしたちがあなたの目的を成し遂げることができるよう、わたしたちの人生、わたしたちの家族、わたしたちの共同体を変えてください。

あなたの言葉に従って生きるための力をお与えください。

あなたの愛の力によってわたしたちを聖なる者とし、わたしたちが虐げられている人たちに福音をもたらすことができますように、心を痛めた人たちをいたわることができますように、

そして囚われの身にある人たちに解放を宣言することができますよう、お導きください。

わたしたちをあなたの愛で包み、

あなたの恵みで満ちし、

主イエスをかたどった人生においてわたしたちを力づけてください。

主よ、わたしたちをあなたの弟子とならせてください。

アーメン

スタディ 2：イエスと弟子たち

主イエスは教えたり、説教したり、病を癒したり、悪霊を追い払ったりすることに多くの時間を費やしました。それでも彼の最優先事項は、
12人の弟子たちを教え育てることでした。
福音書はわたしたちをイエスの「弟子学校」の教室へ連れていってくれます。



はじめの祈り

マタイによる福音書6章の中で、主イエスは弟子たちに特別の祈りを教えられました。ともに祈りましょう。

天におられるわたしたちの父よ、
み名があがめられますように。
み国が来ますように。
み心が行われますように、天におけるように地の上にも。
わたしたちに必要な糧を今日与えてください。
わたしたちの負い目をゆるしてください、
わたしたちも自分に負い目のある人をゆるしましたように。
わたしたちを誘惑にあわせず、悪い者から救ってください。

(新共同訳聖書 マタイによる福音書6章9～13節)



わたしたちのストーリー

ある日、一人の農夫が農園の手入れをしに行くと、藪の中に2個の卵が入った鷺の巣が捨てられているのを見つけました。農夫は卵を家に持って帰り、飼っているニワトリの巣に置きました。すると、卵はかえり、2羽の赤ちゃん鷺が生まれ、ほかのひよこたちと一緒に成長しました。赤ちゃん鷺たちは、ひよこと同じように農園の地面をつついてまわり、穀物の種をかき集めました。かれらはずっと庭の中で過ごし、空を見上げることはほとんどありませんでした。

ある日、ずいぶん大きくなってから、鷺たちは頭を上げました。その頭上に素晴らしい光景を見ました——1羽の鷺が空高く飛んでいたのです。鷺たちはため息をつき、互いに言いました。「鷺に生まれてさえいたらなあ」。



はじめましょう

イエスの弟子を育てる計画は、不特定多数に対するプログラムではなく、イエスが父のもとに戻ったのち、イエスの生涯を証しし、イエスの働きを実践する者たちを対象としたものでした。イエスは弟子として12人の男性（そして幾人かの女性をも）を選び、教え、訓練しました。それがイエスの弟子を増やすための基本計画だったのです。あなたはどのようにしてクリスチャンになったのでしょうか。短く分かち合ってみましょう。



聖書を読む

マタイによる福音書24章1～13節

- 一人が全部を朗読するか、一人1節ずつ全員で輪読する。
- それぞれの心に響いた言葉や表現（あるいは考え）について沈黙のうちに黙想する。
- 別の人が再度同じ箇所を朗読する。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い（あるいはリーダーが提案したもの）について話し合みましょう。

1. イエスが弟子たちに教えるとき、大勢の前の時もあれば、弟子たちだけの時もありました。この箇所では、どんな方法がとられていますか？
2. イエスにとって、弟子たちと過ごす「プライベートな時間」は、なぜ大切だったのだと思いますか？
3. 今日の偽預言者を特定できますか？ だれでしょうか？



黙想の種

5分間の静かな黙想の時をもち、今回学んだイエスの弟子を育てる方法にどのように応えたいか、各自考えましょう。黙想を助けるために、キャンドルを灯し、一人ひとりがそのまわりに石を置きながら、炎の光と暖かさを感じるのもよいでしょう。

最後に、全員で弟子の祈りを唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

イエスは、弟子たちの生活に密にかかわっていました。弟子たちとともに過ごす中で、イエスは彼らを訓練したのです。

報告書「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」(11~12ページ)によると、イエスは宣教活動の間じゅう、弟子たちをご自分のそばに置き、次の世代の弟子たちに大きな意味をもたらす次の二つのことをなさっていました。(1)ご自分の行動のなかに、弟子をつくる人の模範を示された。(2)最初の弟子たちを、ご自身の招きに応え、従わせることによって、彼らをわたしたちの模範とし、キリストの弟子性の第一の特徴(つまり、イエスの学校の生徒であり、イエスに従う者であること)を明らかにされた。

これらの互いに関連する二つのテーマはすべての福音書(おそらく、ことにマルコ)に見ることができ、それゆえ、これらはキリスト教会にとって極めて重要な「弟子のマニュアル」として生き続けるのです。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合います。

1. 弟子たちはすべてを捨ててイエスに従いました。弟子たちはイエスのもとに留まりました。わたしたちは今日、どのようにイエスに従うでしょうか?

- イエスは弟子たちとともに多くの時間を過ごしました。キリストの弟子たちが、学びと交わりの時間をともに過ごすことがなぜ大切なのかをわかちあいましょ。
- わたしたちはひよこではなく、鷲として造られました。これはどういう意味だと思えますか？



生活のなかで

帰る準備をする前に、12人の弟子の中であなたのお気に入りはいだれか、考えてみましょう。なぜその弟子が好きなのでしょうか。これから数日間、毎日少し時間を見つけて、その弟子の性格や長所、短所などを探してみましょう。



おわりの祈り

使徒言行録4章に記された初代の弟子たちによる祈りの一部を皆で唱えて終わらしましょう。

主よ、

あなたは天と地と海、そして、そこにあるすべてのものを造られた方です。

あなたの僕であり、また、わたしたちの父であるダビデの口を通し、

あなたは聖霊によってこうお告げになりました。

「なぜ、異邦人は騒ぎ立ち、

諸国の民はむなしいことを企てるのか。

地上の王たちはこぞって立ち上がり、

指導者たちは団結して、

主とそのメシアに逆らう。」

主よ、今こそ彼らの脅しに目を留め、

あなたの僕たちが、思い切って大胆に御言葉を語るができるようにしてください。

どうか、御手を伸ばし、聖なる僕イエスの名によって、

病気がいやされ、しるしと不思議な業が行われるようにしてください。

アーメン。

(*新共同訳 使徒言行録4章24~26節、29~30節より 訳者注)

スタディ 3: 初代教会のディサイプルシップ

死人の中から復活し、栄光のうちに昇天されたイエスは、弟子たちに教えと約束を残されました。

しかし、弟子たちはもはや主を物理的に見ることも、主とともに歩むことも、

自分たちの師として従うこともできませんでした。

そこからの日々において、主の弟子であり続けるとはどういうことを意味したのでしょうか。

イエスは人々の心と生活の中に生きておられるということ、彼らは見出すことができたのでしょうか。



はじめの祈り

弟子づくりの師である主への祈り

主よ、どうかあなたの幼い子どもらに優しくあってください。彼らの助言者であり、父であり、イスラエルの導き手であるあなたへのわたしたちの願いです。あなたは御子であり同時に父であります。わたしたちがあなたから命じられたことを行うことで、わたしたちにできる限りにおいて神の似姿を映し出し、あなたのうちに善き神と慈悲深い審き主を見い出すことができますように。

わたしたちが皆、あなたの与える平和のうちに生きることができますように。わたしたちが、罪に満ちた海を、波をかぶることなく航行し、ついにはあなたの都にたどり着くことができますように。すべての言葉を超えたあなたの知恵なる聖霊によって、この船路を穏やかにならせてください。夜も昼も、最後の日まで、わたしたちが賛美をもってあなたに感謝し、感謝をもってあなたを賛美することができますように。あなたのみが聖霊とともに父であり御子であり、御子であり父であり、わたしたちの助言者であり教師であるお方です。アーメン

(アレクサンドリアの聖クレメンス, 150-215 AD)



わたしたちのストーリー

昔々、ある小さな町で火事が起きました。消防隊が現場に急行しましたが、消防士らは燃えさかる建物に近づくことができませんでした。群衆が野次馬としてではなく、むしろ火を消そうと群がっていたからです。彼らは消防隊長をよく知っていました。遠足で消防署へ行った子どもたちに消防車によじ登ることを許すような隊長の親しみやすさは伝説となっていました。ですから、火事が出たとき、町の人々は皆、愛する隊長の少しでも助けになりたいと飛び出して行ったのです。

しかしながら残念なことに、町の人々が燃えさかる地獄のような炎を消そうとして持ち出したのは、なんと水鉄砲だったのです！ 人々は現場を離れようとはせず、世間話をしながら時折水鉄砲で炎に水をかけていました。消防隊長はどうとう我慢がならず、人々に叫びはじめます。「何をやっているんだ。一体そんな水鉄砲で何ができると思っているんだ?!」

人々は事の重大さに気がつきました。なんとしても隊長を助けたい思いで一杯になった彼らは、もっとたくさん水鉄砲の水をかけ始めました。「がんばろう」と互いを励まし合いながら。「もっとできるはずさ、そうだろう？」ピュツ、ピュツ、ピュツ、ピュツ。

激怒した隊長は再び叫びました。「ここから出て行け。お前たちは、我々が行うべき重要なことを邪魔しているだけだ。ここに必要なのは消防士だ。火を消すためには何だってする、命だってただちに捨てる準備のできている人間だ。ここは形ばかりの貢献をする場所ではない。」

(セーレン・キルケゴール)



はじめましょう

イエスの足跡をたどろう

グループの全員に一枚の紙とペンかマーカーを配ります。そこに自分の足型を取ります。靴や靴下を脱いでも、履いたままでもかまいません。

次に、それぞれが自分の足型の内側に、成熟し、備えのできたキリスト者とはどんな人か書き出してみます。「聖書が描くイエスの良い弟子の特徴は何でしょうか。」聖書から分かる、弟子が知っていてもはならないことを二つ、弟子ができなくてはならないことを二つ、そして弟子に必要な姿勢を二つ、考えてみるよう提案してもよいでしょう。

そしてグループを二人ずつまたは三人ずつに分けます。その小グループの中でそれぞれが自分の書いたリストを読んでわかちあいます。その中から、いちばん良いと思われる特徴を三つ選びましょう。順位はつけなくてもいいですが、できるだけ全員が一致して良いと思われるものを選んでください。

全体のグループに戻り、小グループの代表が、そこでわかちあわれたことを発表します。時間が許せば、全体でのわかちあいに入りましょう。成熟し、備えのできたキリスト者について、聖書は何と言っているのでしょうか。



聖書を読む

新約聖書の時代、キリスト者たちによって始められた運動は「道」と呼ばれていました(使徒言行録 9:2, 19:9, 19:23)。この呼び名はよく知られていたイエスの言葉から来ています。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない」(ヨハネによる福音書 14:6)。道としてのイエスを念頭に、新約聖書の多くの著者はイエスの弟子となることを「道を前進すること」に譬えました。その反対の動きは、ヘブライ人への手紙2:1に「押し流される」と表現されています。

- グループの中で、読む人を変えながら次の聖書箇所を朗読しましょう。(a) II コリント 5:7 (b) エフェソ 1:2 (c) ガラテヤ 5:16 (d) I ペトロ 2:21 (e) I ヨハネ 1:6 (f) ローマ 13:13-14 (g) エフェソ 2:10 (h) I ヨハネ 2:6。
- それぞれの朗読のあと、しばらくの沈黙のときを持ちましょう。読まれた箇所が、「旅」という人生の比喩にどのような意味を加えるか考えます。グループの中で短くわちあってみましょう。



わかちあい

1. 新約聖書の中には、「旅人」の比喩が「マラソン」にひそかに置き換わる箇所がいくつかあります(ガラテヤ 2:2、II テモテ 4:7、ヘブライ 12:1-2)。この「マラソン」のイメージが伝えようとしているのは、弟子(disciple)を生きる過程における鍛錬(discipline)の重要性であり、既に全行程を走り終えた人々の列に加わることであり、いまだ走り続けている人々を励ますことです。あなたの人生において、アスリートの鍛錬に当たるものはどのようなものでしょうか？ あなたはマラソンを走っているだれを、どのように励ましていますか？
2. 『キリスト者の人生と希望』[*The Christian Life and Hope*] (SPCK, 2015)の中で、アリストア・マクグラス氏は次のように語ります。「キリストの弟子となることは、人生の途上で様々な挑戦や機会に直面することで、信仰を育み、また試される中で形作られていきます。だからこそ、希望をもって旅することが非常に重要なのです。」「この世の都」から「天の都」までを旅するイメージは、あなたに希望をもたらしますか？ そして、レースを完走するイメージは、あなたを喜びで満たしますか？
3. ジャン・バニヤン氏による「天路遍歴」という本を読んだことがある人がいれば、天の都への旅という譬えと、弟子を生きることの過程について、わかちあってもらいましょう。



黙想の種

静かな黙想の時をもち、新約聖書の後半がディサイプルスシップについて何を教えているか、考えてみましょう。黙想を助けるために、キャンドルを灯したり、道が二つに分かれる岐路(マタイ 17:13-14)の絵や、サンダルや運動靴を机の上に置いてみるのもよいでしょう。ふさわしい音楽をかけてもよいかもしれません。そして終わりには、皆で次の「弟子の祈り」を唱えましょう。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

ちょうど子育てが計画的な変化のプロセスであるように、弟子の成長も自動的ではありません。新約聖書は、子どもを霊的未熟さの譬えとして用いています。ヨハネは三つの手紙において、繰り返し、信徒を「(小さな) 子たちよ」と呼び、弟子づくりの過程は、親と子、教師と生徒の関係のようであることを示唆しています。

乳幼児の食事は、段階的に母乳から固形食へと変わっていきます。聖書の著者たちは、この発達の段階を信仰の成長を表すのに用いています (1 コリント 3:2、ヘブライ 5:13)。ペトロは信徒たちを赤ちゃんと比較しながら、神の言葉を表すであろう霊的な乳の質とその源泉について語っています。(1 ペトロ 2:2)

幼子は大人へと成長し、初歩から成熟へと進んでいきます (1 コリント 14:20、ヘブライ 6:1)。青年期の気まぐれは安定し (エフェソ 4:14)、生徒は先生へ、訓練を受けていない者は受けた者へとなっていきます (ヘブライ 5:12、14)。

クリスチャンホームでは、二本の糸がよりあいます。両親には、子どもの心身の成長と同時に、霊的な成長についても責任を持つことが期待されます。彼らは家庭において、子どもたちに主の道を教え、弟子づくりの役割を担うのです (エフェソ 6:4)。

大変な努力と良い計画をもって育てられたにもかかわらず、子どもっぽい大人もいます。すべての弟子たちがクリスチャンであるなら、すべてのクリスチャンは弟子であると言えるでしょうか？



わかちあい

1. 弟子を生きる過程における大きな目標の一つは、「成熟した人間になり、キリストの満ち溢れる豊かさになるまで成長する」ことです（エフェソ 4:13）。「キリストに倣う」ことがわたしたちの目的であるなら、最後までふさわしい状況とやり方に沿って行わなければなりません。わたしたちを取り囲む文化は、どの程度、弟子づくりの過程に影響を与えているでしょうか。弟子になるためには、果たして「通信教育」で十分でしょうか。地域の教会は、この弟子の訓練過程において、どのような役割を果たしているでしょうか。
2. 使徒パウロは、自身が歴史的に実在したイエス・キリストに倣う者であることを宣言し、その上で、他の人々が自分に倣うことを積極的に勧めました。この大胆な「倣う」という考えは使徒書に幾度も出てきます。（I コリント 4:15-17、I コリント 10:32-11:1、フィリピ 3:17、フィリピ 4:9、I テサロニケ 1:6、II テサロニケ 3:7-9、II テモテ 3:10-11）。パウロがしたことは、ただイエスがしたことであり、それは自分の命を差し出すことを倣うものとしたことでした。上記の箇所の一つを選び、パウロ自身がキリストをどのように倣ったことをわたしたちにも倣うよう勧めているかを考えてみましょう。あなたが今導いている人々は、あなたの人生を知ることができていますか？ 主と共に行くあなたの歩みは、他の人が倣うことを招いていますか？ あなたにとって、クリスチャンの生き方の手本やモデルとなったのはだれでしょうか？ 個人崇拜の危険をどのように避けることができるでしょうか？
3. パウロは自身の弟子であるテモテに次のように勧めます。「わたしから聞いたことを、ほかの人たちにゆだねなさい。その人たちがまた、ほかの人々にも教えることのできるように」（II テモテ 2:2）。弟子を生きるということには、どうやら人を教えることも含まれるようです。教えは人から人へと伝えられるものだからです。弟子とは、イエスがわたしたちに命じられた全てのことを守る人のことです。この聖書箇所の中に、四つの「教えの連鎖」を見つけることができますか？ だれがあなたに教えをゆだね、あなたはその教えをだれにゆだねようとしていますか？ あなたの教会はどのように教会問答(カテキズム、ギリシャ語で「教える」の意味)を大切にしていますか？
4. テトスへの手紙 2 章を読んで、「教え、成長、鍛錬、模範」に関する言葉や表現に線を引くか、または書き出してみましょう。最初の10節までに記された、パウロによる生き方の基礎とは何でしょうか。



生活のなかで

このセッションの終わりに、以下の聖句が書かれた6枚1組のカードを一人ひとりに配りましょう。

- 月曜日: II テサロニケ 1:3-12
- 火曜日: フィレモン 4-7
- 水曜日: コロサイ 1:3-20
- 木曜日: フィリピ 1:9-11
- 金曜日: エフェソ 1:1-23
- 土曜日: ローマ 15:14-33

わたしたちがたやすく感謝を口にする事柄は、もっとも価値がある事柄ではないことがあります。パウロの祈りには、よく弟子の過程における成長に焦点が当てられています。時に、信徒の弟子としての進歩を称賛しています。今週は、毎日その曜日の聖句カードにある個所を朗読するよう、全参加者に勧めてください。自らに問いかけましょう。「パウロは、その手紙を宛てたキリスト者の間に見られるどのような成長の兆しを特筆しているのでしょうか？」その一つを自分の生き方に照らし合わせ、その日一日、そのことを証しするように生活してみましょう。



おわりの祈り

輪になって座り、パウロがエフェソの弟子たちのためにささげた祈りを、皆で唱えましょう。心の中では、自分の左に座っている人のことを思って祈ります。

わたしは御父の前にひざまずいて祈ります。

御父から、天と地にあるすべての家族がその名を与えられています。

どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの心のうちにキリストを住ませ、あなたがたを愛に根差し、愛にしっかりと立つものとしてくださるよう。

また、あなたがたがすべての聖なる者たちと共に、

キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、

人の知識をはるかに越える子の愛を知るようになり、

そしてついには、神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、

それによって満たされるように。アーメン

(エフェソの信徒への手紙 3:14-19 新共同訳)

スタディ 4: ディサイプルスシップか、クリスチャンの文化か

クリスチャンになる、とはキリストの形をした共同体の一員になることでもあります。この共同体をキリストの体としてひとつにしているのは、教会生活と sacrament、そしてわたしたちを弟子として形づくる特定の伝統、社会習慣、行い、信仰、象徴、価値観を含む文化です。



はじめの祈り

わたしたちは、この静かなひととき、神さまのみ前に集まりました。
心の中は今日一日の思いわずらいでいっぱいです。

わたしたちは、神さまの存在にふれて静まろうと集まりました。
思いをめぐらし、あなたに聞き、自らの考えに変化をもたらすために。

わたしたちは、少しの信仰と、たくさんの疑いをもってここに集まりました。
あこがれと恐れと希望とをもって。

わたしたちは、ありのままの姿でここに集まりました。
あなたがわたしたちを無条件で愛してくださると知って。

わたしたちはここに、神の民として集まりました。
イエスの道を示す聖霊によって形作られるために。



わたしたちのストーリー

ジョンは十代の頃に教会から遠のいて、政治活動に深く関わるようになりました。神への信仰は失ってはいませんでしたし、むしろ自らの力で生きた信仰を保つことができ、政治活動を行う中でも信仰を花咲かせることができると信じていました。しかし、大学在学中に彼は、色々と努力はしたものの、自分の信仰が浅はかなものとなり、神と接することが困難になっていることに気がつきます。そんな折、彼はたまたま出会ったある思慮深いクリスチャンから、こう助言をされたのでした。「あなたは独りよがりな魂で、孤独なまま暗闇で何かを探している。同じ方向を向いて旅をしている人たちと共に歩まないのは愚かだ」と。その紳士はジョンをあるクリスチャンの集まりに紹介し、そこでジョンは温かく迎え入れられました。皆とともに、自分たちのストーリー、神のストーリー、そして神に創られた世界のストーリーを理解し、思いめぐらすことで成長していきました。ジョンは気づいたのです。神の民を結び合わせる特定の社会的習慣や慣習、象徴、価値観、そして独特な生き方があるということに。それはまるで、新しい言語を学び、新しい文化の中で成長するような体験でした。



はじめましょう

文化とは、ある特定の集団の人びとの生き方であり、たいていは無意識のうちに受け入れられ、世代を超えて受け継がれていくものです。

あなたは文化の持つ要素とはどのようなものだと思いますか？ 全員にカードを3枚ずつ渡します。それぞれのカードに、自分の属する文化の要素や側面を一つずつ書いてもらってください。その後、カードをテーブルに並べるか、壁に張り出してみましょ。それらを、伝統、社会的習慣、信仰、価値観、目的、象徴などの項目別に分類するのもよいでしょう。次に、同じ作業をもう一度行います。ただし今度は、わたしたちをクリスチャンとして形作る要素とは何かを書き出してみます。この作業を通して、クリスチャンの弟子であることが一つの文化であるということへの理解はどう深まるのでしょうか？



聖書を読む

使徒言行録 2章41～47節

次のステップに従って、この聖書箇所を読んでみましょう。

- 一人が朗読する。
- 心に響いた一つの言葉や表現について、沈黙のうちにそれぞれで黙想する。
- 二人組みになって、それらの言葉を分かち合いながら互いの話を聞く。
- それぞれが、二人組の相手が話したことを、全体グループで分かち合う。
- 別の人々が再度同じ箇所を朗読する。(違う訳の聖書を用いても良いでしょう)



わかちあい

以下の問い、あるいはその他の問いを用いて全体で、または小グループで話し合しましょう。

1. この聖書箇所は初代クリスチャンの生き方を語り伝えています。どういったことが彼らを弟子として形づくり、弟子の証となっているのでしょうか？ また、それらの要素は現代に弟子として生きるわたしたちにどのような影響を与えているのでしょうか？
2. 主流社会からは教えも行いも異なったにも関わらず、キリストに従った人たちは「民衆全体から好意を寄せられた」(47節)とあります。この聖書箇所から、何が好意を得る原因となったと考えられますか？ この好意が、どのように彼らの宣教の助けとなったのでしょうか？

3. 宗教的慣習や sacrament とは別に、初代クリスチャンの共同体は、その面倒見の良さと手厚いものでなして知られていました。彼らの手本は、現代社会に生きるわたしたちに、何を教えようとしているのでしょうか？



黙想の種

5分間の静かな黙想の時を持ち、それぞれがここで学んだ、自分たちを形づくるキリスト者の文化にどのように応えるべきかを考えます。黙想の助けとなるように、関連する絵を見せたり、ふさわしい音楽を流しても良いでしょう。最後に皆で「弟子の祈り」をともに唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

主教グラハム・クレイ師の言葉は報告書「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」の中で、次のように引用されています。「弟子としてのわたしたちは、新しい天と新しい地の先取りとなる未だ完成していない世界に働き、仕えるための共同体となるよう召されている」(83 ページ)。聖公会に連なるわたしたち(アングリカンズ)は、この意味をそれぞれの異なる状況において探り続けています。

同報告書は香港聖公会の活性化キャンペーン「三つ星アングリカンになろう!」について記しています。このプログラムは次のような内容を含んでいます。

- (a) 聖書研究：週に少なくとも5回は聖書を読み、神さまからのメッセージについて黙想したことを書き記そう
- (b) 祈り：毎日祈り、自分だけの祈りを作ろう
- (c) 礼拝：毎週の主日礼拝に出席しよう
- (d) 学び：学びの会に少なくとも10時間参加しよう
- (e) 思いやりと気遣い：一人の友人を熱心に助けよう
- (f) 伝道：最低一人の人に福音を宣べ伝えよう
- (g) 奉献：献金額を8%増やそう
- (h) 奉仕：最低でも一つのボランティア活動に参加しよう
- (i) 交わり：定期的に教会のグループや交わりに参加しよう

(89~90ページ)

sacrament、学び、祈り、ケア、奉仕、伝道、そして交わりの文化を忠実に受け入れようとするキリスト者の共同体は、弟子を作り育てるための豊かな土壌となります。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多い場合は小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合しましょう。

1. キリスト者の文化の独自性、他の文化と違う点はどのようなことでしょうか？ キリスチャンの弟子の文化は、他の文化とどのように影響し合っているでしょうか。わたしたちの現代文化の様々な側面を、どのように取り入れたり、拒んだりしているでしょうか。違う文化との出会いの中で緊張を感じたことがありますか？
2. もしもあなたが、キリスチャンの文化の様々な要素をこの世の日常生活に積極的に取り入れる「生き方のルール」を作るとしたら、それはどのようなものになるでしょうか？



生活のなかで

数分間を使って、あなたなりの「生き方ルール」または「行動計画」を書き出してみましょう。日々の生活のなかで、あなたがここで受け止めたキリスチャンの文化の様々な要素を取り入れるために何をすればよいでしょうか。その後、あなたが今現在十分に意識できていない弟子生活の要素や側面が何であるかを見つけてください。もしも取り入れたい行動が時間を要するものであるなら、毎日・毎週・

毎月どれくらいの時間を当てることができるか書き出してみましょう。大切なのは、実際に現実的に計画することです。



おわりの祈り

次の祈りをグループのだれか一人が唱えるか、あるいは全員で声を合わせて唱えましょう。

主よ、わたしたちをあなたのみ子イエスさまの似姿にならせてください
そしてイエスさまに従う以外に楽な選択肢がないことを教えてください
どうかわたしたちがあなたのみ心のままに動き
この世においてあなたの救いのみ業を行う者とならせてください
どうかわたしたちが新しい文化を受け容れる者とならせてください
赦し、信頼、愛と希望が治め、祈りと学びを通してわたしたちがともに成長し、
ともにあなたを礼拝する喜びを経験し、かみしめることができる安全な交わりの場を
見つけ、それを与えることができますように

主よ、いのちを与えるあなたの霊でわたしたちを満たしてください
言葉と行いであなたの愛を宣言し、
あなたの愛するこの世界に仕えることができますように
どうかわたしたちの出ると入るとをあなたのみ名によって祝福してください
この世界のために与えられるあなたのメッセージをわたしたちが生きられますように
わたしたちの瞳には希望の光を
唇には炎のインスピレーションを
舌にはあなたのいのちの言(ことば)を
そして心にはあなたの愛を
主よ、わたしたちをあなたの弟子にしてください

アーメン

スタディ 5: グローバル社会におけるディサイプルシップ

幼子イエスは、両親のヨセフ、マリアとともに、移民としてしばらくエジプトに滞在したことがあります。その後の生涯においても、イエスは幾度となくパレスチナの国境を超えてサマリアに入られました。イエスは「グローバルな」人物だったのです。



はじめの祈り

全能の主なる神さま、あなたは、この世界を多様で唯一なものとして創造され、そこに父と子と聖霊というあなたの性質を映しておられます。わたしが会うすべての人々や自然世界に見る多様性と唯一性をあなたからの贈り物として、感謝することができるようにしてください。そして、わたしたちに違いと多様性がもたらす恐れを克服してあなたの愛を証しする勇気をお与えください。あなたの御子、わたしたちの救い主なる主イエス・キリストによって、アーメン。



わたしたちのストーリー

ナイジェリアでの話です。ある水曜日の早朝、リア(15才)の母、レベッカ・シャリブは、外から少女たちの声と通り過ぎていく車の音を聞きました。レベッカは家を飛び出さずにはおれませんでした。少女たちが帰ってきたのです。(リアと110人の少女たちは、2018年2月19日に、イスラム過激派組織ボコ・ハラムの一派であるバーナウイによって拉致されていました。)

リアの母のまわりは、帰ってきた少女たちと、喜ぶ親たちとでいっぱいになりました。しかし、母はそこにリアを見つけることができません。心配でたまらず、母は娘の友だち二人に聞きました。「リアはどこ？ リアが見つからない。どうして娘を置いて来たの？」友だちは答えました。「リアには、とにかくイスラムの祈りを唱えてヒジャブをつけて車に乗ってと伝えたの。だけど、リアは、自分の信仰ではないからそれはできないと言ったわ。彼らが殺したければ殺せばいい、自分がムスリムだとは言わないと。」

リアは友だちに、両親に会ったら彼女のために祈ってほしいと伝えたそうです。軍が解放された少女たちを病院に移送するように命じたため、母が娘について知ることができたのはこれだけでした。

娘がまだ囚われているということは深い悲しみでしたが、両親や教会の牧師はリアを非常に誇りに思いました。「彼女自身の救い主であるキリストを否定しなかったことについて、わたしはうれしく思う」と、警察官であるリアの父、レイサン・シャリブは言います。「非常に誇らしい気持ちです。…連邦政府が他の子たちと同じように娘もわたしたちのもとに戻してくれることを望みます。」

(2018年10月15日付の *Christianity Today* に初出)



はじめましょう

神さまは、わたしたちの日常・非日常の両方において神の愛を証しすることを呼びかけておられます。弟子を生きることは、わたしたちの人生のすべての側面に関するものなのです。それは、単にキリストについて語るのではなく、キリストを生きることです。敵意のただ中であっても、そこでどう生きるか、どう振る舞うかなのです。敵意の中で、リアは、イエス・キリストだけでなく他のクリスチャン、すなわち両親の中に、信仰の霊的なエネルギーを見出しました。キリストを証しすることは、時には戸惑いを感じ、さらには逆境に陥ることさえ伴う信仰の行いです。しかし、他のクリスチャンの祈りによって支えられているということを知ることは、わたしたちの信仰という旅を間違いなく強くすることでしょう。

二人一組になって、キリストの証人として行動する勇気を神が与えてくれた出来事について、互いに伝えあいましょう。



聖書を読む

ヘブライ人への手紙1章1～3節

次のステップに従って、この聖書箇所を読んでみましょう。

- 一人がゆっくりと朗読する。
- 心に響いた一つの言葉や表現について、沈黙のうちにそれぞれで黙想する。
- それぞれが気づいた言葉や表現をグループで共有する。ここではまだ話し合わないように。
- 違う人が再度同じ箇所を朗読する。(違う訳の聖書を用いても良いでしょう)



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合いましょう。

1. グローバル社会におけるディサイプルシップの中心となるのは、自分がより大きなクリスチャンの共同体に属していることに気づくことのようにです。このことはあなたが弟子として生きる中で、どれくらいの割合を占めていますか？

2. ペトロの手紙一 3章 15-17節を読みましょう。「善い生活」は今日の世界でどのように人々に希望をもたらすのでしょうか？ 弟子の行いとしての「善い生活」とはどのようなものなのでしょうか？ あなたの共同体において「善い生活」はどういった方法で人々に希望を与えるのでしょうか？ 「善を行って」苦しむことと、弟子であることとの関係とは何でしょうか？
3. 先に述べたストーリーを思い起こせば、リアの生き方は、どのように彼女の個人的環境に変化を与えようとしたのでしょうか？ あなたの人生は、他の人々、ことに、異なる人種、宗教、教派、部族、ジェンダー、性的指向、階級、カースト、経済状況にある人々の人生に、どのように触れることができるのでしょうか？



黙想の種

5分間の静かな黙想の時をもち、グローバル社会におけるディサイプルシップについての学びに、わたしたち一人一人がどう応えることができるかを考えましょう。黙想の助けとして、キャンドルを灯したり、関連する絵を見せたり、ふさわしい音楽を流しても良いでしょう。最後に皆で「弟子の祈り」を唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

報告書「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」の中で、ある北アフリカの主教は、わたしたちが異なる文化に属する弟子たちを安易に裁いてしまう傾向について注意を呼びかけました。彼が例として挙げたのは、ムスリムの背景を持つキリストの弟子たちのことです。彼らはクリスチャン共同体の他のメンバ

一の所有物（時間や物）を気軽に自分たちのために使ってしまうことがあります。これは、そうした所有物が自分たちの文化では共同体で共有されているからなのですが、このような行動は、時間、お金、所有物がそれぞれに属する個人主義的な社会から来たクリスチャンからは、「盗み」として非難されてしまいがちです。

ケニヤで開催された「意識的なディサイプルシップ」の会議では、「一夫多妻制」について熱い議論が交わされました。伝統的に、夫が複数の妻を持つ文化が存在しますが、そこでキリストの弟子となったときはどうすべきなのでしょう。明確な答えを持っている参加者もいました。聖書に妻は一人と書いているのだから、他の妻は去らせるべきだという考え方です。これに対して、他の参加者はこう指摘しました。「予備的な」妻と子どもたちを去らせたとしたら、彼女たちが貧困や飢えに苛まれる結果になってしまわないか。これはキリストの弟子として正しい行動なのだろうか。

数年前、あるイギリス人が、アフリカのとある管区で行われる若者の会議の運営のために、伝道団体を通じて寄付を行いました。しかし後になって、若者の会議は翌年に延期され、寄付金は重い病気にかかった教会の指導者の治療費に使われたことがわかりました。寄付した人たちは非常に腹を立てました。これは説明責任の欠如なのでしょう。アフリカの管区にとっては、指導者の命を救うことは明らかに優先されるべきことだったのです。多様な文化のなかでイエスをかたどった人生を生きるのは、異なる文化や異なる時代において、異なることを意味し得るのです。今のわたしたちに必要なのは、最初の弟子たちが、イエスとともに生活する中で、すべてのことについて「イエスならどうなさるか」ということを知ったように、イエスとの生きた関係をもつことです。



わかちあい

1. あなたを取り巻く状況のなかで、弟子を生きることの難しさはどのようなものなのでしょうか？（例えば盗み、一夫多妻、上の例のような財政上の説明責任など）あなたの置かれている状況において、あなたは「イエスならどうなさるか」を、どのように見出しますか？
2. 非常に異なる状況の中で生きるキリストの弟子たちからどのようなことを学ぶことができるでしょうか？ 例えば、北アフリカのムスリムの拝啓を持つ弟子たち（上記の「さらに深めるために」参照）の考え方は、あなたの時間や所有物に対する考え方に何を告げているのでしょうか？
3. あなたが弟子を生きるとは、グローバルなクリスチャン共同体とどのようにつながっているのでしょうか？



生活のなかで

帰りの支度をする前に、世界的な人間家族としての生き方をより良いものとするために、今週あなたができる弟子としての行動を一つ書き留めてみましょう。フェアトレードの服だけを買うようにする、他の国のために毎日祈りをささげる、あるいは他の信仰を持つ人に親切にする、などかもしれません。もしイエスが現代のグローバルコミュニティを生きているとしたら、彼は何を行うのでしょうか？



おわりの祈り

聖なる永遠の神さま、あなたが愛でられることを賛美します。

あなたがこの世界のいのちに、とどまることなく愛を注ぎ続けてくださることに驚いています。また、あなたの愛がわたしたちの心を開き、互いに愛し合うことの喜びを知ることによって感動を覚えます。

共同体の神さま、わたしたちをキリストのからだとしてください、

神さま、わたしたちをおゆるしてください。

- あなたの教会に分裂をもたらしてきた誇りや憎しみをおゆるしてください。
- わたしたちの取るに足らない関心への没頭や、あなたの伝道に対する無関心をおゆるしてください。
- 見知らぬ人を招くようにとあなたが呼びかけるときにも、自分たちが心地よく感じる人々の元に留まっていることをおゆるしてください。

共同体の神さま、わたしたちをキリストのからだとしてください、

あなたの聖霊がわたしたちに力を与え、勇気づけることを知らせてください。

- あなたの教会における生活が、この時この場所の人々にとってふさわしいものとなるよう、新しい取り組みを行う勇気をお与えください。
- 一つの教会においてともに生き、近くまたは遠くの人々に対するわたしたちの心を開かせてください。
- 友情、正義への闘い、奉仕の行為に、新たな方法を見出す想像力をわたしたちにお与えください。

主の尊い御名によってこの祈りをおささげします。アーメン

(「共に人生に向かって」クム・ジュソプ編、世界教会協議会 2013年)

スタディ 6 : 家族のためのディサイプルシップ

今日、家族のあり方は様々ですが、それは新しい世代が今もそこに価値を見出し、

それぞれの人生を形づくる第一の場所であり続けています。

イエスをかたどった家族とはどのようなものでしょうか？

また、わたしたちがそれぞれの共同体で証しびととして生きるために、

どのように家族の関係を豊かにし、癒やし、また強め続けることができるでしょうか？



はじめの祈り

天の父よ、感謝します。あなたは、わたしたちの教会の目を覚まさせ、来て学びなさいという救い主イエス・キリストの呼びかけを、再び聞こえるようにしてくださいました。わたしたちが弟子として生きることが望むとき、聖霊によって、わたしたちの人生のすべてを主の奉仕にささげることができるようにしてください。わたしたちが個人として、家族として、そして教会として、イエスがここにおられたなら、なされたであろう同じ行いをする事ができますように。主のみ名によって祈ります。アーメン。

(ジャマイカ・ケイマン諸島管区「受苦日聖書研究ブックレット」所収、ハロルド・ダニエル主教の祈り、2018年。
クリスチャン教育主事のダグラス・バーンズ牧師から許諾)



わたしたちのストーリー

あらたいへん！ 明かりが消えてしまいました。家の中は暗くなり、月明かりがわたしたちをベランダに招きます。テレビも、扇風機も、ラジオもすべて止まって、夜の音がはっきりと聞こえてきます。夜の涼しさを味わっていると、おばあさんが語り始めました。

おばあさんの若い頃、田舎での出来事です。木から果物をもいで食べ、川で泳ぎ、歩いて学校に行っていました。急な来客のためにテーブルの場所を開けたり、近所のお年寄りのために食べ物を分けたりすることもありました。おばあさんは、両親の言うことを聞かないとこうなるよという怖い話も語ってくれました。

どのようなお話であれ、わたしにとって一番だったのは、一緒にいるという感覚でした。暗闇の中で話をともに聞き、過去について、そして今をどう生きるかについて学ぶとき、わたしたちはひとつになっていました。



はじめましょう

みんなで輪になって座り、次のようなことをわかちあいましょう。あなたが生まれ育った家庭において、いつもお話を語るのはだれだったでしょうか？ それはどんな話でしたか？ あなたがそこで聞いた話をさらにだれかに伝えたことはありますか？



聖書を読む

申命記4章9～14節

次のステップに従って、この聖書箇所を読んでみましょう。

- 一人がゆっくりと朗読する。
- 心に響く一つの言葉や表現について、沈黙のうちにそれぞれで黙想する。
- それぞれが気づいた言葉や表現をグループで共有する。ここではまだ話し合わないように。
- 別の人々が再度同じ箇所を朗読する。(違う訳の聖書を用いても良いでしょう)



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多い場合は小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合みましょう。

1. イスラエルの民は、神との契約の民として物語を覚え、子や孫たちに伝えていくことを求められていました。クリスチャンとしてわたしたちが伝える、イエスの生と死と復活に結びついた物語もまた、イスラエルの民の物語を引き継ぐものです。しかしながら、今日では多くの人が、イエスの物語や信仰についての話を自分に最も近い人たち、つまり家族に伝えることが困難であると感じています。イエスの物語や、それぞれの霊的な体験について、家族の間で分かち合うためにはどうすればよいのでしょうか。
2. 一日のはじめにともに祈る家族は、それぞれが家庭の外で直面する様々な困難への備えができます。それ以外に、わたしたちがひとつになって、家族の中で互いを励まし、高め合うためには、どんな方法があるのでしょうか。
3. イスラエルの民が自分たちの価値観をヨルダン川を越えた地でも持ち続けることが難しかったのと同じように、クリスチャンの価値観を、それが異質で風変わりなものに見られてしまうような、より広いコミュニティに持ち込むことは時として難しいことです。家族から伝えられた

価値観を大切に、またそれをより広いコミュニティに出て分かち合うことができるようになるために、わたしたちはどのように互いを励まし合うことができるでしょうか。



黙想の種

5分間の静かな時をもって、この章で学んだ家族の中で弟子として生きることについて、わたしたち一人ひとりがどのように応えることができるかについて、黙想しましょう。黙想を助けるため、キャンドルを灯したり、関連する絵を見せたり、ふさわしい音楽を流しても良いでしょう。最後に「弟子の祈り」をともに唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によってカづけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

申命記は、親の役割として、若い世代に主の道を歩むことを教えることの重要性を強調しています。そこには、物語（イスラエルの過去に神が何をなされたか）と、教え（神の契約と戒め）が常に思い起こされることが含まれます。

弟子を生きること（discipling）は鍛錬（discipline）を意味しました。そのことは、一人ひとりが自分のアイデンティティ、安全、記憶、希望、そして責任を見出す場としての、イスラエルというより大きな家族のもつ特徴の一部分だったのです

日々イエスに従うこと（使徒的召命）で、わたしたちはさらに深くキリストのからだに引き込まれ（三位一体なる神のいのち）、和解が差し迫って優先されることとなります。人間が共有する世界の傷と痛みは、神のもとへ、十字架の前にささげられなければなりません。和解と、

完全性と、神の打ち砕かれたいのちの中のにのちを見出すためです。パウロがわたしたちに思い起こさせるように、弟子であることの根幹は、神と「和解すること」だけではなく、「和解させる任務」を果たすことなのです(コリントの信徒への手紙二 5.11-21)。この使命は、教会のうちで、より広いコミュニティで、そしてわたしたちとすべての創造された秩序との関係の中で、果たされるものです。

(「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」8ページより)



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合しましょう。

1. わたしたちの家族関係において、一体であることへの妨げになっているのは何ですか？
2. 家族のなかに神の一体性を真に反映し、共同体のよりよい模範となることを目指してわたしたちが生きていくとき、わたしたちはどのようにして互いに和解することができるでしょうか？
3. 家族のだれかの靴を履いて一日を過ごし、人生を異なった視点から見ることから、貴重な教訓を得たという家族もあります。わたしたちは、親が教え、子どもが学び、一人が家族を導き、残りはそれに従うといった、決まった役割に慣れています。例えば、子どもが教えたり、違うだれかが家族を導いたりというように、それぞれが家族の他の一員の役割を一日果たしてみることができたら、わたしたちはどのようなことが学べるでしょうか？ このことを通じて神は何をわたしたちに与えてくださるでしょうか？
4. ガラテヤの信徒への手紙5章22-23節は、全てのクリスチャンを特徴づける価値を示しています。愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制によって導かれる個人として、わたしたちはどう振る舞うべきでしょうか？ 例えば、もし自分の中に愛があるのならば、だれも傷つけず、またそのまわりの全てをも傷つけないようにすることでしょう。このことは家族の間に関係にどのような意味を持つでしょうか？



生活のなかで

帰る支度をする前に、数分間の時間をとり、弟子として生きることを家族のなかに取り入れるために、今週あなたができる行動を書き留めてみましょう。たとえば、家族のだれかを特別な祈りに招いてみ

る、和解が必要な関係を思い起こす、導き祈りながら愛する人を見つける、朝夕の祈りを学び、それを子どもたちに教え、週ごとに交代で司式をする、というようなことでもよいでしょう。

イエスがあなたの家庭で生活していたなら、彼は何をなさるでしょうか？



おわりの祈り

次の祈りをグループのだれか一人が唱えるか、あるいは全員で声を合わせて唱えましょう。

永遠の神さま、
あなたはキリストを通して宣言されました。
あなたの愛の目的が成し遂げられたことを。
わたしたちが信仰によって生き、希望のうちに歩み、愛によって新たにされますように。
この世界があなたの栄光を表わし、あなたが全てにおいて完全とされる時まで。
主イエスよ、おいでください。アーメン。

(英国国教会「併用祈禱書」1980年より)

スタディ 7 : 職場におけるディサイプルシップ

イエスは働くことについてよく知っておられました。各地を巡り、説教や癒しを行うようになる前、
彼は「大工」、石や木材を使う匠だったのです。

そして、母マリアから生まれる前、彼は父とともに全宇宙を創造し、
力あるみ言葉によってそれを保全しました。

そして、人間たちに被造物を世話するよう、また他者のためにそれぞれの能力を解き放つように、
働くことを命じたのでした。



はじめの祈り

すべての造り主である父なる神さま、あなたを賛美します。

すべてを贖い、回復される父なる神さま、あなたを賛美します。

今日一日のあらゆることにおいて、あなたがわたしたちとともにおられることを感謝いたします。

働くときも休むときも、言葉をかわすときも沈黙のときも、眉をしかめるときも、笑いがあふれるときも。

この日、わたしたちが成したすべてのもの——磨いた床、作った料理、摘んだ果物、積んだれんが、教えた子ども、書いた報告書、手当をした傷、耳を傾けた心——をあなたにささげます。わたしたちがしたことすべてが、あなたの目に喜びとなりますように。

この日、わたしたちが経験したすべてのこと——親切と無慈悲、成功と失敗、与えた痛み、受けた傷——をあなたにささげます。

主よ、わたしたちをあわれみ、ゆるしてください。

主よ、わたしたちをあわれみ、いやしてください。

主よ、わたしたちに恵みを与え、わたしたちを変えてください。

今このときも、あなたがともにいて、わたしたちに語り、わたしたちを導いてくださることを感謝します。

あなたのみ恵みのうちに、互いに愛することができますように。主イエスさまによって、アーメン。



わたしたちのストーリー

ビクトリアの初めての仕事は、美容師見習いでした。やることも学ぶこともたくさんあり、彼女はストレスを感じていました。3週間たったある日のこと、彼女の教会の牧師が彼女に髪の毛を切ってもらいにやってきたとき、ビクトリアはようやく平静さを取り戻しました。牧師は彼女に「あなたがイエスさまを知っ

ていることが、人の髪を洗うときに何か変化をもたらしますか？」と聞きました。ビクトリアは答えました。「そうですね、コンディショナーを使ってマッサージしているときに、その人のために祈っています。」

このような小さな仕事でさえ神さまのためであり、それが肉体的にも霊的にも祝福となりうることを知っている労働者がここにいます。彼女は弟子です。神さまが聖所と同じように美容院にも働いておられることを信じ、神さまがすべての人を思っておられることを信じ、祈りの力を信じるのです—たとえその結果を自分で確認することができなかったとしても。



はじめましょう

各自、紙を1枚ずつ取り、そこに「ありがとう」、「痛み」、「お願い」という3つのタイトルを書きます。それぞれが、仕事（家の中でも外でも）、職場、同僚について考え、感謝していること、苦痛や失望を引き起こしていること、神さまにどうしてもしていただきたいことをそれぞれひとつずつ書きます。その中からひとつを、時間があれば、いくつかをわかちあいましょう。



聖書を読む

ルツ記 2章1～16節

次のステップに従って、この聖書箇所を読んでみましょう。

- 一人がゆっくりと朗読する。
- 心に響いた一つの言葉や表現について、沈黙のうちにそれぞれで黙想する。
- それぞれが気づいた言葉や表現をグループで共有する。ここではまだ話し合わないように。
- 別の人々が再度同じ箇所を朗読する。聴く人は、自分がこの聖書箇所の登場人物の一人であることを想像してみる。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い（あるいはリーダーが提案したもの）について話し合しましょう。

1. コロサイの信徒への手紙3章23節は、わたしたちのなすことはすべて「主のために働く」ことを思い起こさせてくれます。ルツの物語には様々な役割を担う労働者：主人、監督、収穫する人（男女ともに）、そして落穂を拾う人たちが登場します。それぞれの役割が「神の働き方」をしていることをこの箇所はどのように示しているのでしょうか？

2. ボアズの言葉や行動はどのようにルツを励ましたか？ あなたの職場に、あなたが導くべき人はいますか？ 職場がより良い場所となるためには、何がどのように変わったら良いと思いますか？
3. 現在、あなたが仕事や職場において、弟子として直面している課題は何ですか？



黙想の種

目を閉じて、あなたが自分の職場の入口—それが自分の家であるとしても—に立っていることを想像しましょう。イエスがそこであなたを迎え、共に職場に入り、中を案内してください。イエスはあなたがたをどこに連れていくでしょうか。どこで立ち止まるでしょうか。何を指摘するでしょうか。どんな話をするでしょうか。しばらく思いをめぐらし、わかちあってください。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
 あなたはわたしたちを召し
 イエスの形をした教会で
 イエスの形をした世界のために
 イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
 どうかわたしたちをあなたの聖霊によってカづけ
 わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
 わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
 アーメン。



さらに深めるために

神は愛です。創世記1章において、愛の神さまは、混沌から秩序をたて、すべての生物を養い、喜びをもたらす、美を創造し、そこに存在する被造物にそれぞれが解き放つ可能性を組み込まれました。要するに、神さまは人間が栄えるための道筋をつくられたのです。墮落した世界の中にあっても、わたしたちの働きはそれらの目的を映し出しています。わたしたちが与えられた賜物、財産、エネルギーを使う目的は、神さまに栄光を帰す人間として他者が繁栄するためなのです。わたしたちの働きは、他者への贈り物となります。同時に、わたしたちの日々の仕事は、単に、すべてを神さまにお返しすること（コロサイの信徒への手紙1章15節～20節）や、工場で農地で、事務所で学校で、お店で病院で、「御国

が到来し、御心が行われる」(マタイによる福音書6章10節)ことの実現に貢献するだけではありません。労働は、神さまがわたしたちを弟子として生かせる方法の一つなのです。神さまが、わたしたちに謙虚さを学んでほしいのは、主日礼拝や家庭集会においてのみでしょうか。わたしたちの職場もまた、霊の実(ガラテヤの信徒への手紙5章22節~23節)を結ぶ素晴らしい場所です。それは、不正義に苦しむ中で忍耐を学ぶ場所であり、赦し赦される場所なのではありませんか? 神と神の言葉、そして祈りを聞いてくださる神の力に対する、生き生きとした信仰を育てる場所なのではないでしょうか。人々の心に、制度に、構造に変化をもたらし、日々、イエスの愛のうちに歩むことを教える場所なのではありませんか? ですから、仕事に行くときには、単に「神さま、他の人々に変化をもたらすよう、わたしを通して働いてください」と祈るだけでなく、「わたし自身が変えられるよう、そして御子イエスさまに似る者となれるよう、わたしのうちで働いてください」と祈りたいものです。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合しましょう。

1. あなたの日々の仕事は、具体的にどのように——肉体的、感情的、精神的、物質的、関係的、または霊的に——社会における他者の平和と幸福のために役立っていますか。
2. イエスは弟子づくりの先生です。ここ数カ月間、あなたの仕事、職場、同僚たちを通して、イエスから何を教えられましたか。



生活のなかで

帰る支度をする前に、数分間の時間を取り、これからの1週間に自分の職場にイエスの道を取り入れることのできるような行動をひとつ書き留めましょう。

それは以下のようなことかもしれません。

- 一人の同僚のために祈る
- 一つの仕事について神の助けを求める
- 職場や工場をまわり、祈るために早く家を出る
- だれかの行動をほめる
- あなたの上司を称える
- ゆるしを求める
- ある特定の人に対して自分にできることをみつける——1杯のコーヒー、チョコレート、励ましのメモ、手伝いなど



終わりの祈り

次の祈りをグループのだれか一人が唱えるか、あるいは全員で声を合わせて唱えましょう。

イエスさま、あなたが弟子たちの足を洗ったように、今週、わたしたちも自分たちの仕事を通して人々に仕えることができるようにしてください。

あなたが、何も捕ることができなかった漁師に知恵をお与えになったように、今週わたしたちがしなければならぬことにおいて、知恵をお与えください。

あなたが、預言者エレミヤに陶工の仕事を通して話されたように、今週、わたしたちの仕事を通して同僚たちにお話してください。

あなたが、父なる神の御心だけを行ったように、今週、あなたの道に沿って、またあなたのみ力の中で働けるようお助けください。

あなたが、人間の手によって作られた、いのちと希望をもたらすパンとぶどう酒を通して働かれるように、今週、わたしたちの手による仕事を通して働いてください。

あなたのなされたすべてが父なる神の栄光を現したように、今週、わたしたちのなすことすべてが、あなたの名前栄光をもたらすものとなりますように。

アーメン

スタディ 8: 社会を変革するディサイプルスシップ

イエスはわたしたちをご自分のもとへと招き、わたしたちをこの世界へ遣わしておられます。
今日、わたしたちがこの招きに耳を傾け、主の命令に従いイエスの姿になって生きるのは、
この世界に合わせるためではありません。

わたしたちの心を新たにし、イエスのように行動することで、世界に変革をもたらすためなのです。



はじめの祈り

聖霊の火よ、わたしたちの心を温め、困難にある人々に愛を注がせてください。

聖霊よ、来て、わたしたち被造物に変革をもたらしてください。

聖霊の火よ、わたしたちの足元を照らし、真理であるイエスの道を歩かせてください。

聖霊よ、来て、わたしたちの目を開いてください。

聖霊の火よ、わたしたちの中にある正義と自由を求める情熱を目覚めさせてください。

聖霊よ、来て、わたしたちの宣教を力づけてください。

聖霊の火よ、わたしたちを集め、あなたの復活を祝わせてください。

聖霊よ、来てわたしたちの内に宿り、わたしたちが地の塩、暗闇の中の光となるよう導いてください。



わたしたちのストーリー

キューバのグリゼルダ・デルガド主教の目が輝いたのは、何年も前に奉仕していたイタボの聖マリア教会での転機を思い出したときでした。教会は、地域に暮らす高齢の女性クラリベルがトマトの栽培をできるよう、種を購入し彼女を支えていました。「すると、近隣住民たちが、クラリベルのトマトを分けてもらえないか尋ねてきたのです」とグリゼルダ主教は言います。「その人たちに対し、クラリベルは、彼ら自身が種をまき土地を耕すことを学ぶようにと呼びかけました。呼びかけは地域全体に広まり、人々は土地を変え、新しいことを学び始めたのです。余剰に収穫ができたときには、保存し販売する方法を学びました。そして経済的自立を達成できるように、種の貯蔵所をつくる目標までできたのです。」

「これは、人々が生活や考え方に革新をもたらす自分たちの将来を設計するために、どのような働きかけができるのか、の一例です。人々は自分たちが知らずと持っていたことについて学びました。わ

たしにとって、これは福音です—(教会の)扉を開け、人々の考え方と土地と心に変革をもたらすのです」と、グリゼルダ主教は語りました。

グリゼルダ主教はのちに、地域社会の変革というビジョンを教区に取り入れ、宣教と発展の新しいプログラムを立ち上げました。これはまたキューバ聖公会のより広いビジョンの下に置かれており、次のように宣言されています。「わたしたちは、多様性の中で一致するために、祝福し、伝道し、教え、仕え、神の愛を分かち合う教会になるよう努めます」。



はじめましょう

弟子として生きるということは、イエスに似た者となること、イエスがされたように行動し、話されたように話し、イエスがそうであったようにいろいろな場所を訪れて人々と親しくなり、イエスのようなやり方と心で人々と関係性を持ち、イエスのような勇気と賢さをもって体制(信仰的、経済的、政治的な、また家族の)への挑戦を決心することです。

イエスが行ったことのどんなことを自分ができているか、考えてみましょう。次に、イエスが行ったことでまだ自分がやれていないことについて考えましょう。その後、より大きなグループでそれをわかちあい、可能であれば、自分たちの思いを大きな紙に書き出してみましょう。



聖書を読む

ルカによる福音書 4章18~19節、10章25~37節

次のステップに従って、この聖書箇所を読んでみましょう。

- 一人がこの箇所をゆっくりと朗読する。
- 心に響く一つの言葉や表現を選び、沈黙のうちにそれぞれで黙想する。
- それぞれが気づいた言葉や表現をグループで共有する。ここではまだ話し合わないように。
- 別の人々が再度同じ箇所を朗読する。(違う訳の聖書を用いても良いでしょう)



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合みましょう。

1. あなたの共同体で、変わらなければならないとされる課題は何ですか？
2. あなた自身、変わらなければならないとされる課題は何ですか？
3. わたしたちの共同体はイエスの姿に近いですか？ そうなるために欠けているものは何でしょうか。
4. わたしたちの共同体は、イエスのより良い弟子となるために、また社会を変革する弟子たちを増やすために、ここで学んだことの何を用いることができるでしょうか。



黙想の種

5分間の静かな黙想の時をもち、それぞれが、ここで学んだ自分たちの生活と地域社会を変革する弟子になることについて、どのように応えることができるかについて思いめぐらしましょう。1本のキャンドルを灯し、注意しながら、それを隣の人に手渡していきます。キャンドルを手にした人は、思いをそこで分かち合ってもいいし、あるいは沈黙の祈りをささげてもよいでしょう。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができますように。
アーメン。



さらに深めるために

福音書は、わたしたちがイエスにどのように従ったらよいか、そしてその道は何を意味するのかということに関心をもって書かれています。わたしたちは、弟子として生きるには宣教師になる意志が必要であることを学びました。報告書「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」(48ページ)は、宣教が「この世界を愛し救う神のみ業」であることを告げています。そしてこの宣教の中心は「人々(と他の被造物)に対する神の愛の働き」であり、そこに「宣教の道具としての教会(キリストのからだ)」が参与するよう招かれています。ですから、神の宣教は、教会の生活と存在、そしてキリスト者の奉仕と伝道のまさしく中心となります。

福音書は、イエスの宣教の始まりが、神の国の宣言と、共同体に変革がもたらされることへの呼びかけであったことを伝えています。イエスの宣教の中心は、究極的には語られたことではなく、イエスご自身が何者であり、何をなさったかということにありました。イエスは、不公正、排除、特権、個人主義といったことに関してどのように行動されたのでしょうか? 「良いサマリア人」のたとえは、このことを理解する手助けになります。ファリサイ派の人々に投げられた質問は、今わたしたちへ投げかけられているのです。「わたしはだれの隣人となろうとしているのだろうか?」



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合みましょう。

1. 朗読したルカによる福音書の2箇所には、どのような動詞(行為を表す語)が使われているでしょうか。リストにあげてみましょう。
2. これらの動詞(行為を表す語)は行うのに難しく感じられますか? それは、なぜでしょうか?



生活の中で

帰る支度をする前に数分間の時間を取り、これからの一週間にあなたの地域社会の中で弟子として生きる行動を一つ書き出してみましょう。今ある地域の社会的活動に参加することかもしれないし、あるいはそれを一つ始めることかもしれません。あるいは、聖公会が現在関わっている環境問題やジェンダーに関する活動について、人々に情報を提供するというかもしれません。



おわりの祈り

グループの中から、一人に祈りのリードをお願いしましょう。

まず、イエスの生き方にならうためにわたしたちが受けた導きを、神さまに感謝しましょう。わたしたちの言葉や行いが、癒しと公正と愛をもたらすものとなるよう祈りましょう。

その後、皆で声を合わせ、次のように祈ります。

あなたの前に道が開かれますように。

あなたの背中にいつも追い風が吹きますように。

あなたの顔にいつも光が照らされ、あなたの畑がやさしい雨で潤いますように。

わたしたちが再び会う日まで、

神さまがあなたを御手の中に抱いてくださいますように。

スタディ 9 : 聖公会のディサイプルシップ

聖公会における弟子たちは、ケルト教会とラテン(カトリック)教会、プロテスタント宗教改革、イングランド敬虔主義、および過去数世紀にわたる世界的な宣教活動といった豊かな伝統を受け継いでいます。聖公会に連なるわたしたちが今日の世界でイエスをかたどった人生を生きようとするとき、神の国の包括性がそこに表されるのです。



はじめの祈り

主イエス・キリストよ、あなたの存在がわたしたちの心に満ち、わたしたちの行いにあふれ出て、み国のよき知らせを告げ知らせることができますように。

あなたの栄光でわたしたちのいのちを満たしてください。

あなたの栄光でこの世界を満たしてください。

主よ、あなたのあたたかな真理の霊によってわたしたちが満たされ、あなたを信じようとしている人々を誠実に教え、洗礼を授け、養い育てることができますように。

あなたの栄光でわたしたちのいのちを満たしてください。

あなたの栄光でこの世界を満たしてください。

主よ、あなたが仕えられるのではなく、仕えるために来られたように、愛の奉仕によって人々の必要に応える慈悲と洞察でわたしたちを満たしてください。

あなたの栄光でわたしたちのいのちを満たしてください。

あなたの栄光でこの世界を満たしてください。

主よ、あなたの善と正義の炎をわたしたちの内に、またわたしたちを通して燃え上がらせ、わたしたちに社会の不正義の構造の変革を求めさせてください。

あなたの栄光でわたしたちのいのちを満たしてください。

あなたの栄光でこの世界を満たしてください。

主よ、すべての良いものを贖うためにわたしたちの人生に来られたように、わたしたちもあなたの被造物のいのちを新たに、永続させるように導ってください。

あなたの栄光でわたしたちのいのちを満たしてください。

あなたの栄光でこの世界を満たしてください。

全能の神よ、洗礼によってあなたはわたしたちをご自身の子とされました。あなたの霊をわたしたちの内に注ぎ、わたしたちが身体と心において新たにされ、誠実さと真理をもってあなた礼拝することができますように。

きますように。父と聖霊とともに今も世々に生き支配される主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン。

(カナダ聖公会アサバスカ教区大聖堂主任司祭イアン・ルーク師の祈りから)



わたしたちのストーリー

一人の男が新しい家に越して来ました。庭にはリンゴの木がありましたが、その実はとても小さかったので、男はそれを食べるに適さない野生リンゴの木だと思っていました。訪ねてきた友人と二人で庭に座ると、男は「実を食べられないひどい木だ」と失望を表わにしました。すると友人は「食べられない実じゃないよ」と言います。「それは確かにリンゴの木だ。ただ一度も剪定されていないんだ。」男は、その冬、リンゴの木を剪定しました。すると翌年の夏、素晴らしい実りがあったのです。



はじめましょう

人生の中で、あなた自身が剪定される必要があったときはありますか。物事をあきらめて、やり直さなければならなかったとき、あるいは人生で実りを得るために優先順位を変えなければならなかったときがありますか。それはどんな感じだったでしょうか。剪定をしてくれたのはだれですか。どのような変化がありましたか。



聖書を読む

ルカによる福音書 6章 43~49節

イエスは良い実を結ぶ良い木や、地面を深く掘り下げて家を建てる賢い人のたとえを用いています。イエスは、わたしたちの結ぶ実によって自分たちがどのような木かが知られるということ、そして岩の上に建てられた家は嵐が来てもしっかりと立つということを教えます。

- 一人がゆっくりと朗読する。
- 心に響いた一つの言葉や表現について、沈黙のうちにそれぞれで黙想する。
- それぞれが気づいた言葉や表現をグループで共有する。ここではまだ話し合わないように。
- 別の人々が再度同じ箇所を朗読する。(違う訳の聖書を用いても良いでしょう)



わかちあい

聖公会のディサイプルスシップを他教派のそれと比較するとき、常に信仰について考え、理性を働かせることを非常に重視してきたこと以外は、特段変わったものがあるわけではありません。しかしながら、イエスの弟子としてのわたしたちの人生を大きく変える、明確に聖公会的なものが一つあります。それは、宣教の五指標です。

宣教の五指標とは以下の通りです。

1. 神の国のよき知らせを宣言すること
2. 新しい信徒を教え、洗礼を授け、養うこと
3. 愛の奉仕によって人びとの必要に応答すること
4. 社会の不正な構造を改革し、あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追及すること
5. 被造物の本来の姿を守り、地球上の生命を維持・再生するため努力すること

この宣教の五指標は、キリスト者の共同体が神の宣教に参加するとはどういうことかを説明しています。しかしそれらはまた、キリストによって形づくられる個人の人生、つまりイエスをかたどった人生をも示します。それらは、イエスの弟子として生きるということの根源であり基礎なのです。

宣教の五指標はまた、聖公会のディサイプルスシップの確信である五つの有益な言葉に要約することもできます。それは、語る(Tell)－教える(Teach)－世話する(Tend)－変革する(Transform)－大切にすること(Treasure)の五つです。

ここから、わたしたちが今日、聖公会における弟子として生きる上で、いくつかの問いが示されます。あなたの暮らす場所における聖公会の共同体において、わたしたちはどのように次のことをなし得るでしょうか。

- 語る(Tell)——イエスについて、またなぜイエスがクリスチャンにとって大切なのかを他者に語ること
- 教える(Teach)——神について他者に教え、聖書の物語を伝えること
- 世話する(Tend)——困っている人々を助け、他者とわたしたち自身をいたわること
- 変革する(Transform)——一人のために変革を起こし、世界を変えること
- 大切にすること(Treasure)——わたしたちが暮らす世界を大切に、他者のために維持すること

二、三人ずつに分かれて、少し時間をとってこれらの問いについて話し合い、その後、あなたの考えをそのグループ全体と分かち合しましょう。



黙想の種

5分間の静かな黙想の時をとり、それぞれがここで学んだ宣教の五指標と聖公会のディサイプルシップにどのように応えられるのかを考えてみましょう。黙想を助けるために、キャンドルを灯したり、関連する絵や写真を並べたり、ふさわしい音楽を流したりしてみてもいいでしょう。最後に、全員で声を合わせ「弟子の祈り」を唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

宣教の五指標に従って、イエスをかたどった人生を生きることは、次のことを意味します。

- a. クリスマン一人ひとりが、日々の生活においてキリストの証人として召されていることを知っていること
- b. クリスマン一人ひとりが、自分の中にある希望の理由を説明することができること
- c. クリスマン一人ひとりが、共同体において良い隣人となり、貧しく不幸な状況にある人々の必要を、やさしさと愛と思いやりをもって積極的に満たすこと
- d. クリスマン一人ひとりが、家族と近所の人たち、地域社会と国とに積極的に変化をもたらし、それらが世界中で相互依存していることを認識し、またわたしたちが民族や皮膚の色、階級といったこの世の境界線を越えて兄弟姉妹であることを知ることによって、世界により良い未来を築くこと
- e. クリスマン一人ひとりが、その地域や地球規模での環境を大切にし、神の被造物を使い尽くしたり搾取したりしない生活様式を生み出すこと

イエスは、「人の口は、心からあふれ出ることを語るのである」(ルカ 6:45)とされました。わたしたちがクリスチャンとしての生き方の原点に戻り、そこに根を下ろすとき、わたしたちの心はあふれんばかりに満たされます。善いもの、価値あるもの、願望、そしてキリストの豊かさに満たされたとき、わたしたちの心は実を結ぶのです。その実は、わたしたちが口にする言葉、わたしたちの行い、そして究極的にはわたしたちが築く社会の中で成熟し、地上における神の国の実現へとつながっていきます。



わかちあい

1. 宣教の五指標のうち、あなたにとってもっとも難しく感じられるのはどれですか？
2. あなたの生活にもっとも関わりがあるとみられるのはどれですか？ あなたの教会、またあなたの国にとっては、どれがいちばん大切でしょうか？
3. 宣教の五指標が、今日イエスに従う者たちの人生を形づくったとしたら、どのような変化が起こることが期待されるでしょうか？



生活のなかで

帰る支度をする前に少しの時間を取り、これからの一週間に、宣教の五指標のうちの一つかそれ以上を実践するためにできることを書き留めましょう。実を生らせるために、何を剪定する必要があるか考えてみましょう。



終わりの祈り

神さま、あなたの教会を一致させ、一つの大きな弟子の群れとし、わたしたちの主イエス・キリストにともに従う人生を歩ませてください。

世界に対するキリストの宣教において、ともに主に仕え、すべての大陸と島々で主の愛をともに証しする者とならせてください。アーメン

(「新しい礼拝の形」(Church House Publishing, 2002)、295 ページ)

スタディ 10 : 他教派におけるディサイプルシップ

イエスは、ご自身と父とが一つであるように、わたしたちすべての人が一つとなるよう祈りました(ヨハネ 17:21)。イエスをかたどる人生を生きるためには、イエスへの同じ信仰を分かち合う他のキリスト教伝統にある人々とともに、キリストのみ姿に成長することの意味を理解しなければなりません。



はじめの祈り

聖なる神さま、
わたしたちがともにいるこの時を祝福し、わたしたちにあなたの存在を知らせてください。
わたしたちの心の前に、世界中のあなたの子らを高く上げ、あなたの内にわたしたちが一つとなる願いを深めてください。み子イエスさまによって、アーメン



わたしたちのストーリー

わたしが村の小さな教会に通っていたある年のことです。牧師はわたしたちに、他教派の人たちとともに大斎節のための祈りの会をつくり、家庭で集会を持つよう求めました。これは大きな驚きでした。今までにそのような経験はまったくなかったからです。わたしたちは皆、どうなることかと戸惑いましたが、言われた通り家庭集会のグループを作りました。すると、週ごとに他教派の人々の生活のなかで働かれる神さまの話を聞いていくなかで、ワクワク感を覚えるようになりました。地域社会でどのように神さまが関わっておられるかを意識するようになり、お互いに道端で会ったときには、前よりもあたたかな笑顔と挨拶を交わすようになったのです。異なる伝統での祈り、異なる翻訳での聖書の学び、また今まで自分たちが思いもなかったような、でも今他のだれかがしている信仰生活の営み、といったことを互いに学び合えたことも刺激的でした。わたしたちは、神さまがまわりの人たちの信仰をどう生かしておられるかを見て、キリストのからだは自分たちが今まで想像し理解していたよりも実ははるかに大きいということに気づかされました。そして、イエスの弟子となる旅の道行きは多様でありながら、同じ一つの目的地に向かっていくことを発見したのです。イエスさまは、わたしたちが主を愛し、従うのと同時に、わたしたちが兄弟姉妹となることを求めておられます。



はじめましょう

2016年に行われた全聖公会中央協議会(ACC)の会議でジャスティン・ウェルビー大主教は、「人生のあらゆる局面で、どのような境遇にあっても、それがだれであれ、なしうる最上の決断は、イエス・

キリストの弟子になるということです。」と語りました。報告書「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」には、他教派の伝統における弟子づくりについて、いくつかの例が取り上げられています。聖霊が世界中の兄弟姉妹を招き、わたしたちが信仰と忠実性において成長する様をより深く見させてくれているようです。あなたの地域にある他教派の教会の名前をいくつかあげてみましょう。



聖書を読む

ヨハネによる福音書17章17～23節

カナダの先住民には、福音に基づいた弟子となっていくための聖書の朗読のし方があります。ここではそれを試してみましょう。聖書を読み終えても、わかちあいの間は聖書を開いたままにしておきます。だれかがもう一度聴きたいと言えば、再度福音が朗読されます。

祈りましょう

造り主なる神さま、あなたのすべてと、あなたがわたしたちにもたらすすべてを感謝します。イエスさまにおいて、あなたはこの神聖なる円の中心に福音を置かれます。あなたはわたしたちに寛容と共感のうちに生きる方法を示してください。わたしたちに、互いへの尊敬と献身をもって共に生きる力を与え、あなたの霊において成長させてください。今も、そして永遠にあなたは神だからです。アーメン

聖書箇所を読みます。

- 福音書を読む——どの言葉、アイデア、表現が気になりますか？
- 福音書を読む——イエスさま（福音書）はあなたに何を語りかけていますか？
- 福音書を読む——イエスさま（福音書）はあなたにどうするよう招いておられますか？



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い（あるいはリーダーが提案したもの）について話し合しましょう。

ここでのイエスの祈りは、わたしたち一人ひとりを、神の家族へ、そして神の現臨へと招き入れます。それは、過去、現在、未来のすべての時を超えた弟子たちのためにささげられたイエスの祈りです。あなたを弟子へと導いた人々を思い起こし、そのうえで、さらにこれからあなたが弟子へと導こうとしている人々について考えてみてください。わたしたちが一つの物語の、そして一つの愛の一部分であることを覚えましょう。

1. 大主教ジャスティン・ウェルビー師は言います。「わたしたちのイエス・キリストへの愛は、わたしたちのふるまいや生き方を変えるはずでず。わたしたちのなすべきことは『教会愛』を持ったり、『教会通い』をすることではなく、弟子、すなわちイエスに従う人々をつくることなのです。」あなたの共同体において、クリスチャンとして共通するふるまいを見ることが出来ますか？それらのいくつかをあげてみましょう。それらのことはどのように教えられているのでしょうか？
2. ジャン・バニエはヨハネによる福音書に関する素晴らしい本を書き、その中でわたしたちのイエスとの関係、この聖なる友情について述べています。「このイエスとの友情は、とても深いものでありながら単純なものです。それは神秘体験でもなければ強烈な印象を残す幻でもありません。それは、イエスとともに日々の生活を生きること、イエスに聴くこと、イエスの願いに従うこと、そしてイエスのみ言葉とからだによって養われることなのです。イエスはわたしたちの内におられ、わたしたちはイエスの内にいます。」(” *Drawn Into the Mystery of Jesus Through the Gospel of John*”, 2004, Darton, Longman & Todd)
どのように人々を弟子に導くことによって、このイエスとの聖なる関係がますます深められるのでしょうか？



黙想の種

5分間の静かな黙想の時を持ち、他教派における弟子のあり方について学んだことに対して、わたしたち一人ひとりがどのように応答できるかを考えましょう。異なる背景を心に留めるために、祈りの本や聖書を持ってきた人があれば、それらを部屋の真ん中に置きましょう。

次の歌を皆で歌ってみましょう。(作詞・作曲： 伝統的賛美歌／レスリーB.タッカー)

I have decided to follow Jesus; (x3) No turning back, no turning back.

従おう、イエスさまに(x3)、うしろは見ないで

Though I may wonder, I still will follow;(x3) No turning back, no turning back.

従おう、疑っても(x3)、うしろは見ないで

The world behind me, the cross before me;(x3) No turning back, no turning back.

世をあとに、十字架仰ぎ(x3)、うしろは見ないで

Though none go with me, still I will follow; (x3) No turning back, no turning back.

従おう、一人でも(x3)、うしろは見ないで

Will you decide now to follow Jesus?(x3) No turning back, no turning back.

今従おう、イエスさまに(x3)、うしろは見ないで



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

カナダ聖公会のエキュメニカル・アニメーター、Dr.スコット・シャーマン司祭は、意識的なディサイプルスシップのもつ2つの方向性について語っています。ひとつは、わたしたちがどうかたちづくられるのか、そしてもうひとつは、わたしたちがどのようにともに生きるかです。

彼はディサイプルスシップを考えると、入信準備としての教会問答(カテキズム)の学びが、東方正教会の伝統から受け取った贈り物の一つであると言います。三世紀以降、成人のキリスト教への回心が一般的になった時、キリストのみ姿へと弟子たちを導く過程を整える必要が出てきました。ときには何年にもわたる信仰の学びと実践が行われ、ある種の霊的な訓練期間がもたれました。東方教会で決して完全に廃れることのなかったこの古くからの伝統は、ここ数十年の間に西方教会で新たに芽を出し始めました。正教会特有のこの優れた慣習のもつ豊かさは、改革派、長老派、メソジスト、そして聖公会などの教派で広く、また興味深い方法で分かち合われ、それぞれの文脈に応じた内容が用いられています。

「エクレシア・プロジェクト」は、教派を超えて、同じ神の愛と教会に根差した友情を喜び祝うキリスト者のネットワークです。それは、カトリック教会、プロテスタント諸教会、再洗礼派、家の教会、さらに、イエス・キリストに従うことが人生の全領域を形作ると確信する人々の集まりで、自らを次のように説明しています。

神中心: 支配的な文化の限定的な信仰のビジョンを、単に私的で個人的なものとして克服する。わたしたちの生活と仕事において三位一体の神を証しする。信頼と祈りによって生活する。

教会中心: キリストの集められたからだである教会に対するコミットメントを共有する。教会の真の中心は共同の礼拝であり、真の自由は規律ある奉仕である。教会はあらゆる境界線や人間同士の分裂を越えることを確信する。

シャローム(平和)中心: キリストの生涯、死、復活により立てられた平和への参与を約束する。十字架にかかりよみがえられたメシアを体現する教会は、この世の暴力に代わるものをもたらす。傾聴することを通して、わたしたちが異なる見解をもつ事柄について互いに学び合う。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合しましょう。

1. 教会のなかで、あなたはどのように形成されたでしょうか? 今のあなたは完成形ですか、それともまだ発展途上でしょうか? 何が、あなたにこれからも旅を続けるよう励ましてくれるでしょうか?
2. もし、すべてのクリスチャンが一致していたとしたら、あなたの住む地域はどのように変わっていくでしょうか?



生活のなかで

帰る支度をする前に少しの時間を取り、これからの一週間に、あなたの住む地域におけるクリスチャン共同体の多様性に感謝する一つの行いを書き出しましょう。ノンクリスチャンの人たちは、わたしたちが皆キリストのからだの一部分であることをどのように知るのでしょうか? そのことを健全な方法で知らせるために、各教会はどのようにともに働くことができるのでしょうか?



おわりの祈り

次の祈りをグループのだれか一人が唱えるか、あるいは全員で声を合わせて唱えましょう。

主よ、あなたの教会を弟子たちの素晴らしい集まりの中に引きよせてください。生涯のあらゆる歩みの中で、わたしたちの主イエス・キリストとともに従うことができますように、この世に対する神の宣教の中でともに主に仕えることができますように、そして、すべての大陸と島々に主の愛をともに証しすることができますように。この祈りを主の御名によって、主のためにおささげします。アーメン

(カナダ聖公会『併用祈禱書』より)

スタディ 11: 他の信仰共同体の中に生きるディサイプルシップ

驚くべき神の愛は全人類に広がり、あらゆる国々のすべての人々に神の救いをもたらします。地上での公生涯の間、イエスはいのちのパンである神のことばをユダヤ人だけでなく、例えば、サマリア人や異邦人と呼ばれた他の宗教を信じる人たちとわかちあいました。しかしながら、他の信仰共同体の文脈の中であって、イエスの弟子となり、イエスをかたどった人生を生きることは、しばしば挑戦的で危険を伴うものとなり得るのです。



はじめの祈り

わたしたちの主なる神さま、畏れと賛美をもってあなたのみ前に身をかがめます。
すべての国の人々に対するあなたの憐れみと愛を感謝します。

あなたが贈り物としてお与えくださったみ子に感謝します。
その方は主イエス・キリスト、わたしたちの救い主、わたしたちの師です。

あなたがお送りくださった聖霊に感謝します。
その方はわたしたちを教え、あなたが語られたことすべてをわたしたちに思い起こさせてくださいます。

あなたがお与えくださったみ言葉に感謝します。
それらはわたしたちの心に変化をもたらし、イエスのように生きるよう整えてくれます。

わたしたちの心を、すべての人々に対するあなたの愛で満たしてください、
そしてあなたがわたしたちに備えてくださった良い働きを行うことができるよう助けてください。

あなたの福音をすべての人々に忠実に伝えることができるようお助けください。
すべての国の人々があなたの弟子となれるよう、わたしたちを助けてください。

あなたがわたしたちに教えてくださったすべてを彼らに伝えることによって、
彼らもまた他の人々に教えることができますように。



わたしたちのストーリー

あるノンクリスチャンの家庭で育った青年は、神を知り、神に仕える人になりたいという熱い思いを持っていました。彼は自身の信仰の教えと伝統に従うために最善を尽くそうと懸命に努力しましたが、い

まだ神さまを身近に感じる事ができず、自分が正しい方向へと向かっているのかもわからずじまいでした。

ある日、一人の友人がイエス・キリストの福音を青年に語りましたが、彼はそれを受け入れませんでした。しかし、その後、青年は夢の中でイエスと出会い、神の愛を真に確信したのです。罪を悔い改め、イエスを救い主として受け入れました。青年は大きな喜びを感じ、自らの信仰を多くの人々に知らせたいと願いましたが、彼の家族は非常に憤り、彼の身に起こったことを恥じ入りました。彼の兄弟たちは、青年が瀕死の状態に陥るまで殴りました。兄弟たちは彼を自分たちの先祖が埋葬されている墓地へ連れて行き、イエスへの信仰を棄てるよう迫りました。青年はそれを拒否し、兄弟たちはさらに彼を殴りました。兄弟たちは青年が死んだと思い、彼を鉄道が走っているところへ連れて行き、電車が轢くように彼の体を線路上に置きました。

兄弟たちが立ち去った後、青年は意識を取り戻し、線路から離れることができました。そして自分の家族から身を隠し、別の場所へ移り住みました。そこで、密かに家の中で礼拝し、祈り、神のみ言葉を学んでいる人々に出会ったのです。生活は厳しく、危険なこともありましたが、彼はイエスに忠実であり続けました。日々の生活においてイエスの教えを聞き、それを実践することを通して、彼は主に従うことを学びました。ある日、青年は以前の自分と同じ宗教の背景から来たクリスチャンの女性と出会い、結婚しました。そして、牧師になりました。現在、彼らはともにアジアの国で人々に福音を伝え、厳しい環境の中で人々がイエスに出会い、イエスの弟子として生きることができるよう助けています。



はじめましょう

他の信仰共同体という環境の中で、イエスの弟子として生きるということ、あるいは信仰者たちをイエスの弟子として整えることは、しばしば困難を伴います。その困難の一つが迫害です。国によっては、福音を伝えること、礼拝すること、神のみ言葉をともに学ぶこと、さらに、聖書や他のキリスト教の書物を持っていることさえもが法によって禁じられ、投獄や死罪にまで至ることがあります。また別の苦難を伴うこともあるでしょう。

数分間の時間をとり、他の信仰共同体のなかで、イエスの弟子であるために起こり得るさまざまな困難についてそれぞれ考えてみましょう。その後、グループでわかちあい、それらの困難な事例をリストにあげてみましょう。



聖書を読む

マタイによる福音書28章18～20節

- 一人がゆっくりと朗読する。
- 少しの時間をとり、それぞれがその箇所にある「一切の」「すべて」「いつも」という語句に特に注目しながら、黙想する。
- それら語句の入った文を一つずつ読み上げる。

テモテの手紙ニ 2章2節

- 一人がゆっくりと朗読する。
- それぞれがこの聖書箇所を黙想し、心に響いた言葉や表現を一つ選ぶ。話し合うことはせず、グループでその言葉や表現をわかちあう。
- 声を合わせて全員でこの箇所を読む。

これら二つの聖書箇所は、ディサイプルスシップの最終的な目標、すなわち、他者をイエスの弟子にすることができるとして密接に関連しています。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い(あるいはリーダーが提案したもの)について話し合みましょう。

1. 他の信仰共同体に属している人々に働きかけることについて、イエス・キリストの大宣教令(マタイ 28:18-20)は何を語っているのでしょうか?
2. この務めを果たす上でわたしたちの役割とは何でしょうか? その役割を担うときに、イエスがわたしたちに約束してくださっていることは何でしょうか?(20節を参照)
3. 他の信仰共同体の中におかれた現地の小さな教会に属するクリスチャンたちが、くじけることなく、霊的にも人数的にも成長するために、いかにしてわたしたちは彼らを支えることができるでしょうか?



黙想の種

5分間の静かな黙想の時を持ち、すべての国の人々を弟子にするというわたしたちの義務について、各自教えられたことを思い巡らしましょう。わたしたちの住む地域、あるいは職場などで日々、出会っている他の信仰共同体に属している人々のことを思い起こしましょう。イエス・キリストの大宣教令は、それらの人々にも関わりがあるということをわたしたちは認識しているでしょうか？ 黙想の終わりに、皆で「弟子の祈り」を唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができるよう。
アーメン。



さらに深めるために

他の信仰共同体に属している人々に働きかけるのは難しいことです。あなたと相手の間にある隔ての壁を乗り越えなければなりません。まず、彼らと友だちになる方法を知る必要があります。時に、彼らとの対話のしかたさえわからないことがあります。この問題に関して、特にイスラームの人々と対話する時に助けとなる良きツールとして、スティーブ・ベルとティム・グリーンによる「フレンドシップファースト」という DVD による学びがあります (freindshipfirst.org にて購入可能)。また、他の信仰共同体の人々にあなたの信仰を分かちあうための情報を見つけることもできます。

もう一つの課題は、他の信仰共同体の背景をもった信仰者をイエスの弟子として育てるためのツールを見つけることです。聖書が 3,000 以上の言語で読まれるようになったことは、ただ神に感謝です！しかしながら、特に他の信仰共同体の中に置かれている少数派のクリスチャンのための、様々な言語によるその文脈にあった聖書の学びができる資料は、大抵不足しています。イエスに従う人々が、神の

み言葉をよく理解して、それを他の人々、特にその共同体の人々に説明できるということが大切です。また、イエスの教えを自分たちの日常の生活の中に取り入れることによって、イエスをかたどった生き方ができるということが重要なのです。過去数十年間の間に、SEAN コース (seaninternational.com) が文脈化され、80 以上の言語に翻訳されて普及しました。SEAN コースは他の信仰共同体（パキスタンのイスラーム、ネパールのヒンズー教徒、モンゴルの仏教徒など）において、先住民族の家の教会を含む、さまざまな教派によって 100 カ国以上で積極的に使用されています。さらに離散させられた人々の教会（マレーシアのネパール人、韓国のロシア語を話す韓国人、ロシアの中央アジア人を含む）の間でも人気が高まっています。“Tools to Empower and Equip (TEE)” コースも利用できます。アジアだけでも、10 万人以上の TEE の学生がいます。TEE の詳細については、Increase Association のウェブサイト (assassassiation.org) をご覧ください。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い（あるいはリーダーが提案したもの）について話し合みましょう。

1. キリストの福音を他の信仰共同体の人々と分かち合うとき、わたしたちはどのような隔ての壁を経験するでしょうか？ どうすればこれらの障壁を乗り越えることができるでしょうか？
2. わたしたちの信仰を他の信仰共同体から来た人々と分かち合うとき、それらの人々について、どのようなことを知っておく必要があるでしょうか？ こうしたことについて役立つ良い資料や情報を知っていますか？
3. 他の信仰共同体に背景を持つ新しい信仰者が、クリスチャンとしての信仰を成長させ、イエスをかたどった生き方をし、他の人々を導き、弟子にすることができるようになるためには、何が必要なのでしょうか？ あなたのいる場所で何か紹介できるツールや手助けはありますか？



生活のなかで

帰りの支度をする前に、数分間の時間をとり、他の信仰共同体に属しているあなたの隣人や同僚とキリストの福音を分かち合うために、あなたに踏み出すことのできる最初のステップや行動の小さな計画を紙に書きとめてみましょう。



おわりの祈り

次の祈りをグループのだれか一人が唱えるか、あるいは全員で声を合わせて唱えましょう。

いつくしみ深い全能の神さま、あなたはすべての民の神です。この世界において、すべての民をイエスの弟子とする大宣教令を果たすために、あなたの大使として、あなたの道具としてわたしたちが招かれていることを感謝いたします。あなたのみ言葉をよく知り、わたしたちの日々の生活の中であなたの教えを実践することができますようお助けください。わたしたちを聖霊で満たし、すべての国々のすべての宗教にある人々に対して、わたしたちがイエスをかたどった生き方する者としての良き模範を示すことができますようお導きください。

他の信仰共同体にありながら、あなたに従うことを選んだわたしたちの兄弟姉妹を感謝いたします。これからも彼らを守り、お支えください。いかなる状況の中にあっても、彼らが強く、勇気を持って生きることができますように。彼らにあなたの知恵を与え、あなたのみ言葉をよく知り、それを他者へ伝えることができるようお助けください。どうか、わたしたちが他の信仰共同体の中で、あなたの弟子をつくるためにあなたの器となることができますように。

主イエスさまのみ名によって。アーメン

スタディ 12 : 弟子を増やすために

イエスが三年間の宣教活動のあいだに育てた弟子たちは、ほんのひと握り——12人、のちに72人——だけでした。初代教会はどうやってそんなに早く成長したのでしょうか？
イエスは弟子をつくる弟子たちを育てたのです——掛け算方式によって。



はじめの祈り

主よ、わたしはあなたを慕い、あなたの義を求めて歌います
わたしは、歌います

主よ、わたしはあなたが来られる罪なき道を心に留めます
わたしは、心に留めます

主よ、わたしは完全な心をもってあなたの道を歩みます
わたしは、歩みます

主よ、わたしは価値のない悪しきことのすべてから遠ざかります
わたしは、遠ざかります

主よ、わたしはあなたがご自分の道に招き入れるものすべてを受け入れます
わたしは、受け入れます

主よ、わたしはあなたのみ名を継ぐ数え切れないほどの多くの者たちとともに喜びます
わたしは、喜びます、喜びます、喜びます。アーメン

(詩編第101編に基づいた祈り)



わたしたちのストーリー

山のふもとにある小さな町に、ハルクというクリスチャンの弟子がいました。彼は決めました。毎日ショッピングモールに出かけて、自分の信仰を分かち合える人を新たに一人連れてきてくださるように神さまに願おうと。神さまは誠実な方であり、ハルクは最初の週が終わるまでに、7人の新しい弟子たちの小さなグループを得ました。ひと月の終わりに、ハルクはおよそ30人からなる教会を設立し、その年の終わるころにはメンバーは300人を超えました！一日に一人、新たな弟子が加えられたのです。

同じ町のロシオというクリスチャンの姉妹は、別のプランを立てました。ロシオにとって、弟子の使命は、福音伝道だけではなく、教えることと指導することでもありました。彼女は、神さまに、自分が一年をかけてキリスト教の信仰を教えることのできる人を一人与えてほしい、そしてその翌年には、彼女とその

人が別の二人に同じことができるように願いました。神さまは誠実な方であり、三年後には8人がこの弟子方式を用いるようになっていました。

また別のアイデアを持つ三人目の人がいました。アイサは、神さまに、自分が三年間生活をともにし、弟子訓練をし、その後同じことをするために送り出すことのできる12人を与えてほしいと願いました。神さまは誠実な方であり、このアイサの運動は年々大きくなっていきました。

十年が過ぎたとき、福音を宣べるために毎日市場へ行ったハルクは、今や三千人を超えるメンバーを持つ教会に仕える、疲れ果て衰弱した人になっていました。ロシオはまだ一度に一人を指導するだけでしたが、今では500人以上の人が彼女の地域で同じことをしていました。アイサは、彼の小さなグループに弟子訓練をした三年後にはその地域を離れていましたが、その弟子たちが彼の働きを引き継いだため、これらの小さなクリスチャンの共同体で信仰を深める人が1,800人以上にもなっていました。

20年ののち、驚くべきことが起こりました。7,292人の教会員を持つハルクの教会は、牧師がすっかり疲れ果ててしまい、ひどく苦しんでいました。ロシオの穏やかな指導は、100万人以上の人を、イエスをかたどった生き方へと導き、アイサによる、弟子訓練の共同体運動は、3,900万人以上の弟子たちをつくり上げました。これが、足し算と掛け算の違いなのです！（これらの数字は、みなさんがご自身で確かめてください。）



はじめましょう

イエスをかたどった人生を生きる人は、弟子をつくる弟子です。

二人一組になり、以下のどれか二つのことについて、自分がだれの弟子（ファン／フォロワー）なのか、考えてみましょう（それぞれに一人の人の名前をあげます）。

- おいしい食事のメニュー
- ファッション
- フットボール
- キリスト教の教え
- 音楽
- ソーシャル・メディア

これらのいくつかをグループでわかちあいます。自分が名前をあげた人にこれまでに会ったことがあるかどうか、あるいは、別のフォロワーに説得されてあなたも従うことになったのかどうかなど、話してみましょう。



聖書を読む

ヨハネによる福音書14章12～29節

次のステップに従って、この聖書箇所を読んでみましょう。

- 一人がゆっくりと朗読する。
- 沈黙を守りながら、この箇所に記されたイエスの約束（「わたし」に動詞が付いた形、例：「わたしは～する」、「わたしは～するだろう」、「わたしは～である」）のうち、それぞれの心に響いた一つについて思いを巡らす。
- グループで、それらの約束がなぜ心に響いたのか、簡潔に理由を分かち合う。
- 別の人が再度同じ箇所を朗読する。（違う訳の聖書を用いても良いでしょう）



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い（あるいはリーダーが提案したもの）について話し合みましょう。

1. ハルク、ロシオ、アイサについての冒頭の物語を振り返ってみましょう。あなたは弟子をつくるモデルのうち、どれを（a）福音主義、（b）アングリカニズム（聖公会主義）、（c）イエスと関連づけますか。
2. もし、弟子をつくる小さな共同体が大きくなって、また別の共同体が形成されていくというモデルがもっとも効果的であるのなら（少なくとも長期間での数字の上で）、このことはあなたの教会にとってどんな意味合いを持つでしょうか。
3. ヨハネによる福音書14章のなかで、イエスはともに過ごした三年間が終わろうとする時、彼の弟子をつくる共同体に向けて語っています。イエスはここでどのような問題をあげていますか？ イエスは、あなたのクリスチャン共同体に向けて、過去三年間について、どんなことを言われているのでしょうか？



黙想の種

5分間の静かな黙想の時を持ちます。わたしたちは、イエスをかたどった弟子が新たな弟子をつくっていくということを学びました。そのことにわたしたち一人ひとり、どのように応えることができるでしょ

うか。黙想の助けとして、キャンドルを灯したり、大きな電卓、絵、または「共同体」を象徴する物をテーブルに置いたり、ふさわしい音楽を流してもよいでしょう。最後に、全員で弟子の祈りを唱えます。



弟子の祈り ともに唱えましょう

全能の神さま、
あなたはわたしたちを召し
イエスの形をした教会で
イエスの形をした世界のために
イエスの形をした人生を生き、わかち合うよう望んでおられます。
どうかわたしたちをあなたの聖霊によって力づけ
わたしたちの救い主イエス・キリストの新たな弟子を作り出すことを通して、
わたしたち自身が主の弟子を生きることができますように。
アーメン。



さらに深めるために

報告書「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」は、最後にこのように記しています。

[アングリカン] コミュニオンは、新しい場所で他者をイエス・キリストの弟子へと招くために旅をし生まれた、聖公会のキリスト者たちであり、それは宣教活動の産物です。弟子を生きるとは、聖公会の本質そのものなのです。アングリカニズムは、ケルトとオーガスティンの靈性に根差し、ヨーロッパの宗教改革によって形づくられましたが、それは常に生きた（単に知的で靈的なものではなかった）信仰でした。それはイエスの道に従い、生きるということだったのです。… 弟子を生きるとは、アングリカン・コミュニオンの未来です。わたしたちが各世代に、新たに神さまとともに日々歩み、弟子として生きよう呼びかけなければ、聖公会は成長もしなければ、生き残ることもありません。新たに弟子がつくられなければ、わたしたちの未来は一世代で終わってしまうことでしょう。（126-127頁）

弟子を生きること重点を置いているのは、聖公会だけではありません。教皇フランシスコは全カトリック教徒に「宣教する弟子」となることを呼びかけましたし、ブラジル、ガーナからマレーシア、ニュージーランドまで、多様な伝統をもつ教会が、弟子づくり運動 (*Disciple-Making Movements <DMM>*) を立ち上げています。もし、あなたの教会がその地域の DMM となることに関心があるなら、インターネット上で多くの情報を自由に入手できますし (coramdeo.com のオンライン・トレーニングなど)、あなたの教区や管区の指導者から助言を受けることもできるでしょう。また、この「ライフガイド」の最後のページにある参考資料もご覧ください。



わかちあい

グループ全体で、もし参加者の数が多ければ小グループに分かれて、以下の問いのいくつか、またはすべての問い（あるいはリーダーが提案したもの）について話し合しましょう。

1. もしも新型のインフルエンザ・ウイルスがあなたの地元の教会に集う50歳以上の教会員全員の命を奪ったとしたら、教会はどんなふうになるでしょうか。実はそれが、あなたが新たな弟子をつくらないなら、今から数年後に見るであろう教会の姿です。どうすれば、弟子をつくる弟子たちが、あなたの教会の未来を変えることができるでしょうか？
2. あなたの教会が弟子づくり運動を起こしたり、小さな弟子の共同体（イエスがパレスチナで立ち上げ、後に世界を変えることになったような）となるときに、何が最大の障壁になるでしょうか。その障壁を乗り越えるために、まずあなたにできることはどんなことですか？
3. あなたの教会は「掛け算」、あるいは「足し算」（もしくは「引き算」か「割り算」かもしれませんが）をしていますか？ あなたはどちらをしたいですか？ そのために、どのように祈ることができますか。



生活の中で

帰る支度をする前に、全員に次のようなカードを配ります。

+（足し算） 成長

わたしは祈ります：

-（引き算） 共同体

÷（割り算） イエスをかたどった人生

×（掛け算） 弟子づくり運動

各自、自分の教会で取り組みたいと願う、一つの記号と一つのコンセプトを○で囲み、それからそのためにささげる自分の祈りを書きましょう。



おわりの祈り

次の祈りを応唱しましょう。

聖なるは神
聖にして全能

愛なるはみ子
愛するは死に至るまで

力なるは聖霊
力、そしてあらゆる喜びの源

永遠なる三位一体であられるお方
あなたはわたしたちを、あなたの内へと導いてくださいます

わたしたちの人生を整えてください
わたしたちがこの世にイエスの生き方を映し出すことができますように

わたしたちをあなたの弟子として受け入れてください
家庭で、職場で、近所で、地域で、そして世界の果てにおいても

イエスさま、あなたはこの世のパンです
わたしたちを空腹にし、あなたの弟子として日々歩ませてください

イエスさま、あなたは命の水です
わたしたちに渴きを与え、あなたが全人類のために注がれた豊かないのちに、すべての子ども、女性、男性が導かれるのを見させてください

イエスさま、あなたは道であり、真理であり、命です
わたしたちが新たな弟子をつくる、イエスをかたどった弟子であり続けることができるよう、わたしたちの信仰を強めてください。栄光はあなただけのものです

アーメン

未来に向けて

この冊子「ライフガイド」のはじめに、これは完結する講座ではなく、生きるための指針であると述べました。あなたがこの12のセッションを修了しても、証明書も資格も得られません——得るものはただ一つ、イエスにかたどられた人生の生き方だけです。

イエスのいのちは永遠のはじめから、今も変わりなく共同体にかかわっています。それらは、三位一体の共同体、イエスの地上における家族と弟子たちの共同体、イエスがそのために死に、そのために今生きておられる、キリストのからだなる教会共同体です。神学者たちは、父と子と聖霊の三位一体の存在を説明するのに、ギリシア語のペリコレーシスという語を用いました——きわめて親密な関係を表す力強い言葉です。驚くべきことには、弟子を生きるということは、この存在の本質へと招かれることであり、そこへ他者を招くことなのです。

その旅は、今、始まったばかりです。知ることと知られること、オープンであり、正直であることは、非常に難しいことですが、同時に大きな報いをもたらします。あなたが決して知ることのなかったかもしれない教会が、ここにあります。

この「ライフガイド」があなたの助けとなりますよう、願っています。他の人たちにもお薦めください。他の弟子たちがイエスをかたどった人生を生きるのを手伝い、彼らが新たな弟子たちをつくれるよう助けてください。新しい弟子たちが神のいのちの共同体へ入るのをともに歓迎しましょう。

この「ライフガイド」をさらによいものにするため、あなたの感想、提案をお寄せください。また世界中で弟子を生きる旅を続けている聖公会信徒の手助けとして、よい参考資料などがありましたら、ぜひお知らせください。

ペリコレーシス …

それは、知る自由と知られる自由を創り出す。この自由のなかに、一つの交わりが生まれ、正直に、オープンに、リアルにわかちあうことで、人びとは相互に内在し合う。そこに生まれるのは、個人のアイデンティティが失われることなく存在する一致である。一人が涙を流せば、もう一人が塩気を味わう。父と子と聖霊なる三位一体においてのみ、この秩序だった人格的關係が存在するのであるが、喜びの知らせは、キリストの死を通して、わたしたちがこの關係に招き入れられたこと、そしてその關係がわたしたち一人ひとりのうちに、またすべての被造物のうちに、完全に展開されることが望まれているということである。

参考資料

アングリカン・コミュニオン「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」キャンペーンの一環として、国際コーディネーターグループが、アングリカン・コミュニオンのウェブサイトに資料のページ(リソース・ハブ)を立ち上げました。そこでは、ディサイプルシップについての多くの情報を得ることができます。情報は、年齢(子ども、青年、大人)と、あなたのディサイプルシップの進み具合(始めたばかり、途中、かなり進んでいる)によって、グループに分けられています。

リソースハブはコミュニオンのウェブサイトにあります。anglicancommunion.org/discipleship

祈り

この「ライフガイド」には世界中のさまざまな地域から数多くの祈りが紹介されています。その中にはこのガイドのため特別に書かれたものもあります。ディサイプルシップの更なる歩みのために、これらの祈りをあなたの教会や小グループで用いることができますし、あなた自身が書いた祈り、またあなたの共同体や教区で、あるいはインターネットでよい祈りを見つけて用いてもよいでしょう。

以下に紹介するのは、イエスをかたどった人生を生きるための二つの祈りです。一つ目は古代ケルトの祈り、もう一つはカメルーンで生まれた現代の祈りです。

大いなる神よ、あなたを血のように赤い月、
そして流れ星の中に見ます
大いなる救い主よ、あなたを奇跡による誕生、
そして死からのよみがえりの中に見ます
大いなる聖霊よ、あなたを造り主
そして賢者たちの中に見ます
支配する力となって来てください
わたしたちの夢の中へ、
わたしたちの考えの中へ、
わたしたちの口の中へ、
わたしたちの体の中へ、
わたしたちの行動の中へ、
あなたの世界において、わたしたちがあなたのしるし、臨在、そして奇跡となるときまで。
アーメン

.....

神さま、わたしは小さく
弱く
とても平凡で
あまり清潔でもありません
そんなわたしを用いてください、鏡のように
だれにも見えないから
人びとに見えるのは、ただ
美しく映し出される
あなたの姿だけ
あなただけに
あなたのすべての栄光を
イエスさま、どうか
わたしのなかで輝いてください。アーメン

.....,

世界の聖公会の教会とその会衆とともに「意識的に弟子を生き、弟子をつくる」キャンペーンに参加するとき、この「ライフガイド」は、わたしたちがイエスをかたどった人生を生き、イエスにおいてわかちあわれる新しいのちへと他者を招くツールとして小グループ、個人、教区全体で用いられます。

この文書は世界中の著者によって書かれ、素晴らしい多文化の家族であるアングリカン・コミュニケーションを垣間見せてくれます。わたしたちは、以下のことに思いを巡らすよう招かれています。

- イエスはどのように最初の弟子たちを呼び集め、教えたのか
- 時代を下ったクリスチャンたちはどのようにイエスによってかたちづけられたのか
- イエスをかたどった父や娘となるとはどういうことか
- 火曜日の朝の職場における、弟子としての生き方とはどのようなものか
- 弟子たちはどのように不正に立ち向かい、被造物を世話し、崩壊した共同体に変革をもたらすのか
- 聖公会特有のディサイプルスシップというものがあるかどうか
- どのように、他の信仰を持つ人々の間で、イエスの弟子であることができるのか
- 増やす弟子になるとはどういう意味か

このほかにも、イエスとともに日々を歩むみなさんを強めるヒントが、たくさん記されています。

どのセッションも同じように、ストーリー、祈り、聖書による黙想、わかちあい、生活への備えと課題、という枠組みのなかで進みます。セッションは主に小グループのためにつくられたものですが、イエスをかたどった人生を生きるためのパーソナルなガイドとして、個人でも用いることができます。

